JP

FUJIFILM

instax mini Evo 2™

HYBRID INSTANT CAMERA

使用説明書（詳細）



- カメラの機能、仕様はファームウェアのバージョンアップにより、変更される可能性があります。
- ファームウェアをバージョンアップする方法は2通りあります。詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」を参照してください。（46ページ）

model number: FI053

FI053-JP-01

目次

フィルムカートリッジの取り扱いに関する注意.....3
カメラの準備.....4
カメラをお使いになる前に.....4
ショルダーストラップを取り付ける.....4
各部の名称.....5
液晶モニターの表示.....6
撮影モード.....6
再生モード.....7
タッチパネルの使い方.....8
メモリーカードを使用する.....8
メモリーカードを入れる.....9
メモリーカードを取り出す.....9
充電する.....10
充電状態の表示について.....10
フィルムカートリッジを入れる.....11
フィルムカートリッジを取り出す.....12
電源を入れる/切る.....13
バッテリー残量の確認方法.....13
言語と日時を設定する.....13
Bluetoothペアリング設定.....14
撮影する.....16
撮影について.....16
撮影時の注意.....16
静止画を撮影する.....17
AF/AE ロックを使用して撮影する.....18
グリッドラインを表示する.....18
セルフィー撮影.....18
画面の縦横表示について.....19
画面の向きを固定する.....19
エフェクトを加える.....20
レンズエフェクト.....20
フィルムエフェクト.....21
エフェクトを登録する.....22
登録したエフェクトを使用する.....23
エフェクトをリセットする.....23
いろいろな撮影 — クイックメニュー.....24
クイックメニュー（撮影モード）を表示する.....24
セルフタイマーを使用する.....24
接写 — マクロ撮影を使用する.....25
画像の明るさを変える.....25
ホワイトバランスを設定する.....26
フラッシュを使用する.....26
写真に日付を入れる — 日付表示.....27
日付表示の位置を選ぶ.....27
ピントを合わせやすくする.....28
instax Expanded View™.....29
instax Expanded View™ の設定をする.....29
instax Immersive Movie™を撮影する.....30
撮影設定を適用する.....31
再生する.....32
撮影した静止画/動画を再生する.....32
条件指定で表示画像を絞り込む.....33
画像をお気に入りに登録する.....34
1 枚表示のとき.....34
2 列 /3 列表示のとき.....34
静止画を編集する.....35
画像編集メニューを使い、静止画を編集する.....36
静止画を切り取る.....37
明るさを調整する.....38
コントラストを調整する.....38
彩度を調整する.....39
画像を削除する.....40
1 枚表示のとき.....40
2 列 /3 列表示のとき.....40
プリントする.....42
静止画をプリントする.....42
プリント画像の画質と明るさを設定する.....43
プリント画像の画質を選ぶ.....43
プリント画像の明るさを選ぶ.....43

撮影データについて.....44
撮影データの保存先.....44
メモリーカードを挿入しない場合.....44
メモリーカードを挿入した場合.....44
静止画撮影可能枚数.....44
撮影可能枚数.....44
設定メニュー.....45
設定メニューの操作と項目.....45
設定メニューの項目.....45
アプリについて.....47
スマートフォンアプリ連携で使える機能.....47
スマートフォンアプリを設定する.....47
その他の情報.....49
仕様.....49
このようなときは.....50
カメラを廃棄するときの注意.....51
本機を廃棄するときは.....51
安全にご使用いただくために.....52
取扱上のお願い.....52
電源仕様（Power Supply Specification）...53
無線 LAN/Bluetooth® 機器使用上の
注意事項.....54
アフターサービスについて.....55
個人情報の取扱について.....55

フィルムカートリッジの取り扱いに関する注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

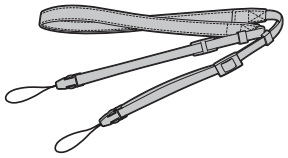
カメラの準備

カメラをお使いになる前に

カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

付属品一覧

- ショルダーストラップ（1本）
- USB Type-Cケーブル（1本）（B038A34001）



- 使用説明書（1冊）

- ショルダーストラップは肩に掛けて使用し、首には掛けないでください。
- ショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。
- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。

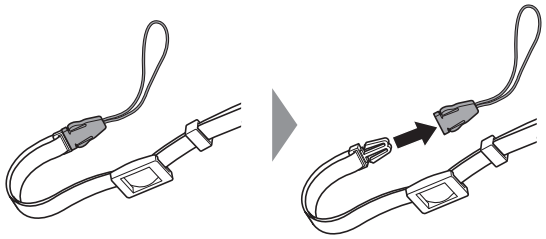
❶ 付属のUSB Type-Cケーブルは充電専用です。

カメラを安全に使用するために、「安全にご使用いただくために」（52ページ）をお読みください。

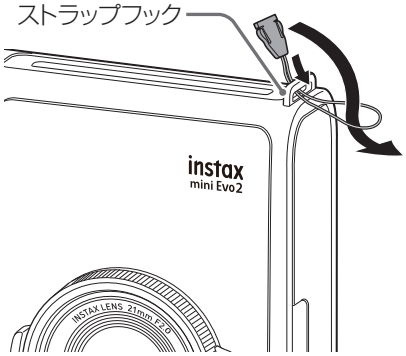
ショルダーストラップを取り付ける

以下の手順でショルダーストラップをカメラ本体に取り付けます。

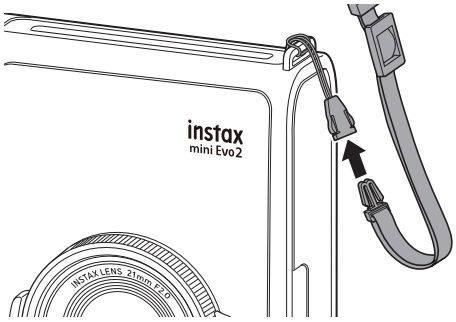
1 ショルダーストラップの先端部分(2か所)を取り外す



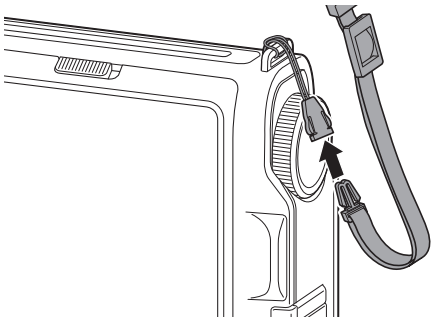
2 ショルダーストラップの先端部分をカメラのストラップフックに通す

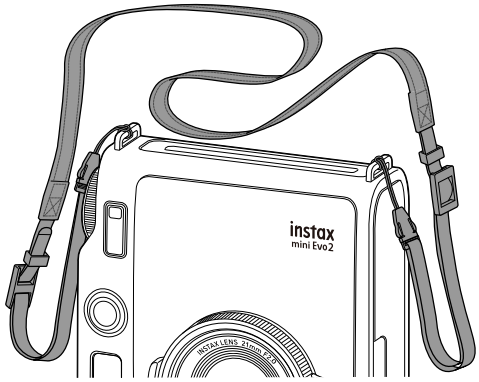


3 ストラップの先端部分にストラップ本体を取り付ける



4 反対側も同様に取り付ける



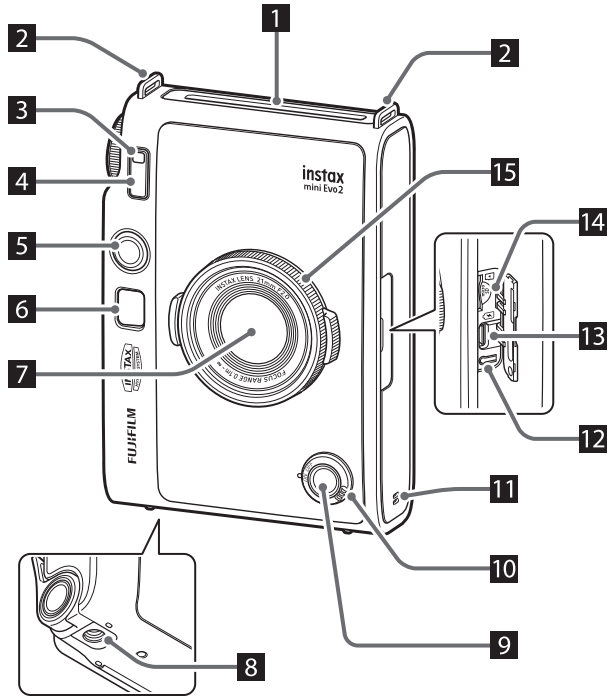


取付完了図

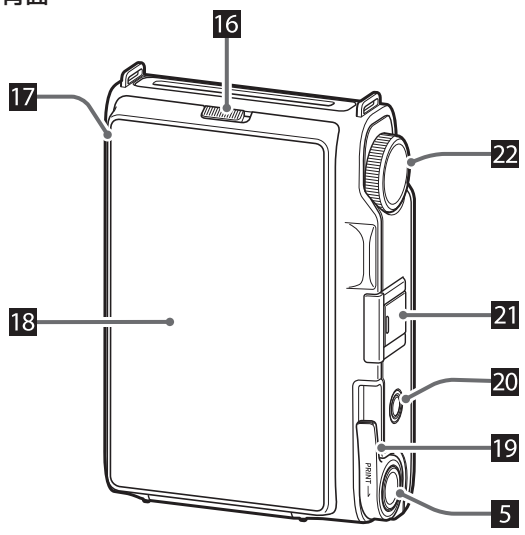
カメラの準備

各部の名称

前面



背面



1 フィルム排出口

2 ストラップフック

3 セルフタイマーランプ/充電ランプ
セルフタイマーを使用して撮影するときに点滅します。また、充電中に点灯し、充電が完了すると消灯します。

4 フラッシュ
設定に応じてフラッシュが発光します。

5 シャッターボタン
構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。ピントが合ったことを確認したら、そのまま全押しして撮影します。
また、再生モード時にシャッターボタンを押すと、撮影モードに切り替わります。

6 セルフィーミラー
セルフィーミラーに被写体を写し、構図を確認して撮影できます。

7 レンズ

8 三脚穴
三脚を取り付けられます。

9 instax Expanded View™ ON/OFFボタン
instax Expanded View™のオン/オフを切り替えます。

10 電源スイッチ
電源スイッチを時計回りに回すと電源が入ります。反時計回りに回すと電源が切れます。

11 スピーカー

12 リセットボタン
カメラが正常に動作しない場合に押すと、強制的に電源が切れます。カメラが正常に動作しているときに使用しないでください。撮影データが失われる場合があります。

13 USB Type-Cケーブル端子
充電を行うためのUSB端子です。USB端子を使用したデータ転送はできません。

14 マイクロSDカードスロット

15 レンズダイヤル
レンズダイヤルを回して10種類のレンズエフェクトを切り替えます。レンズの加工はデジタルで処理されます。

16 フィルムドアロック

17 フィルムドア
フィルムカートリッジ出し入れ時はフィルムドアロックをスライドしてロックを外し、フィルムドアを持ち上げます。
フィルムを使い切るまではフィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

18 液晶モニター（タッチパネル）

19 プリントレバー
液晶モニターに表示されている画像をプリントします。

20 エフェクトリセットボタン
レンズエフェクトとフィルムエフェクトのいずれもノーマルに戻します。

21 アクセサリーシュー
カメラアクセサリーの取り付け口です。

22 フィルムダイヤル
フィルムダイヤルを回して10種類のフィルムエフェクトを切り替えます。フィルムの加工はデジタルで処理されます。

液晶モニターの表示

この取扱説明書の説明は、縦画面を使用しています。横画面のときは、画面のレイアウトが変わります。

撮影モード

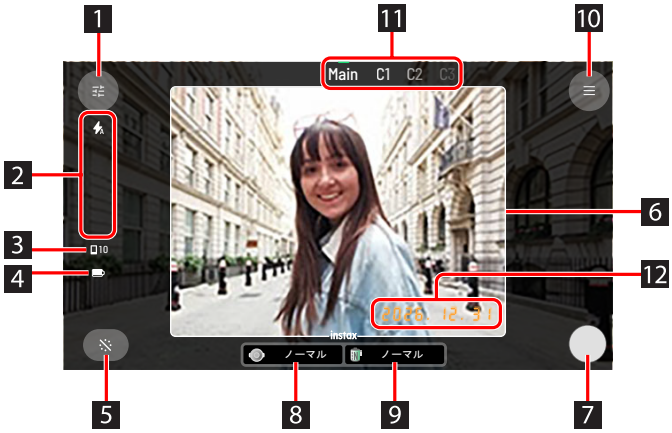
電源を入れると液晶モニターに撮影画面が表示され、液晶モニターで被写体を確認できます。この状態を**撮影モード**と呼びます。
画面の向きはカメラを動かすことで自動で切り替わりますが、設定メニューの[画面向き表示]で固定することもできます。（19ページ）

■撮影画面

縦画面



横画面



1 クイックメニューボタン（撮影モード）
タップすると、液晶モニターの上部（横画面のときは左側）にクイックメニューが表示されます。セルフタイマーやフラッシュ、明るさの調整など、撮影時の設定が可能です。

2 クイックメニュー設定表示
クイックメニューで設定を変更した項目が表示されます。

3 フィルム残量

4 バッテリー残量

5 instax Immersive Movie™ボタン
instax Immersive Movie™のオン/オフを切り替えることができます。

6 instax Expanded View™
フレーム内が撮影されます。instax Expanded View™ ON/OFFボタンで表示を切り替えることができます。

7 再生画面切り替えボタン
タップすると、再生画面に切り替わります。

8 レンズエフェクト情報表示
選択中のレンズエフェクトが表示されます。

9 フィルムエフェクト情報表示
選択中のフィルムエフェクトが表示されます。

10 設定メニューボタン
タップすると、設定メニューが表示されます。

11 カスタムスロット
お気に入りのエフェクトの組み合わせを3つまで登録することが可能です。

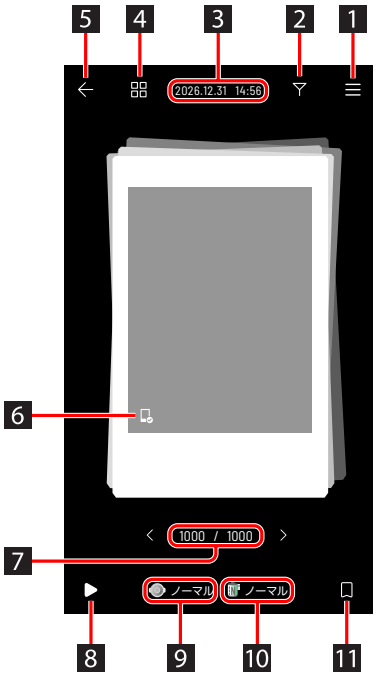
12 日付表示
日付表示をオンにしているとき、日付が表示されます。

再生モード

撮影モード時に再生画面切り替えボタンをタップすると、撮影済みの画像が表示されます。この状態を**再生モード**と呼びます。
撮影画面に戻るときは、以下のいずれかの操作をしてください。

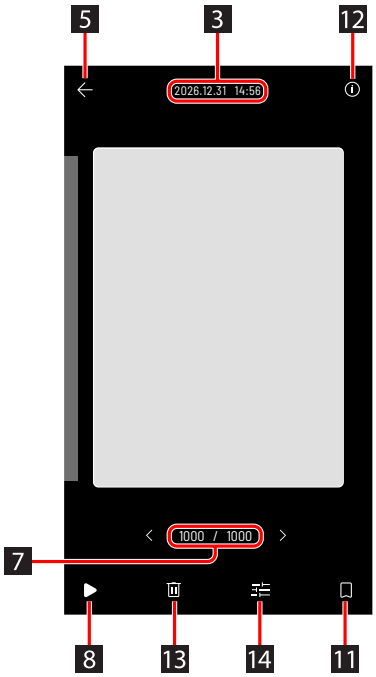
- シャッターボタンを押す
- 画面の[←]をタップする

■再生画面



詳細再生画面

再生画面の画像をタップすると、詳細再生画面に切り替わります。



1 設定メニューボタン
タップすると、設定メニューが表示されます。

2 絞り込みボタン
キーワードタグを選んで、表示したい画像を絞り込みます。

3 撮影日時情報
撮影日時が表示されます。

4 画像表示切り替えボタン
画面に表示する画像のコマ数を変更することができます。

5 戻るボタン
タップすると、撮影画面に戻ります。

6 プリント済みマーク
プリント済みの画像には、このマークが表示されます。

7 画像通し番号/画像保存枚数
画像通し番号と画像保存枚数を表示します。

8 再生ボタン
instax Immersive Movie™を再生します。

9 レンズエフェクト情報表示
撮影時に使用したレンズエフェクトが表示されます。

10 フィルムエフェクト情報表示
撮影時に使用したフィルムエフェクトが表示されます。

11 お気に入りボタン
表示されている画像をお気に入りに登録します。

12 撮影情報ボタン
表示されている画像の撮影情報を表示します。

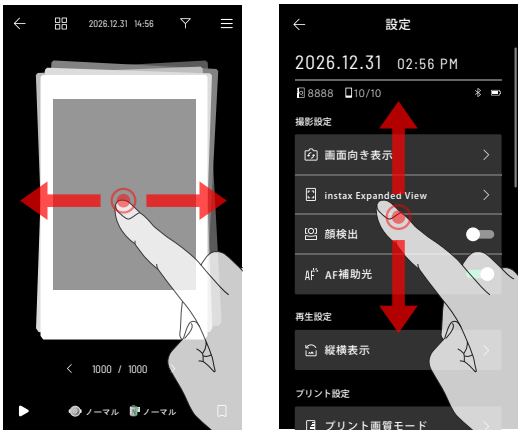
13 削除ボタン
表示されている画像を削除します。

14 クイックメニューボタン（編集モード）
タップすると、画像編集メニューに遷移します。画像の切り取り、明るさ、コントラスト、彩度が調整できます。

タッチパネルの使い方

■スワイプ

指を画面に付けたままスライドさせて、画面のスクロールを行います。画像再生時は左右に指を動かして画像を切り替えることができます。



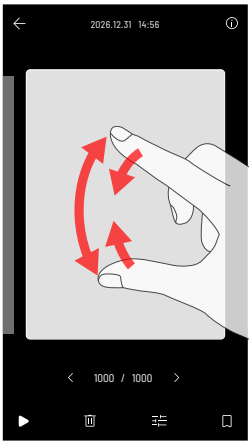
■タップ

使用する機能や項目を、指で軽く触れて選択します。



■ピンチイン/ピンチアウト

画面に表示されている画像を2本の指で画面をつまむように動かしたり、広げたりして、拡大・縮小します。



メモリーカードを使用する

本機は内蔵メモリーに約45枚の静止画を保存できますが、メモリーカードを使用すると、より多くの静止画を保存できます。

- instax Immersive Movie™は、メモリーカードが挿入されていないと、撮影できません。

メモリーカードについての注意

- このカメラに対応しているメモリーカードはmicroSDメモリーカードまたはmicroSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード（～256GB）です。指定以外のメモリーカードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録/削除中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどにメモリーカードを入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間ご使用になった後、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

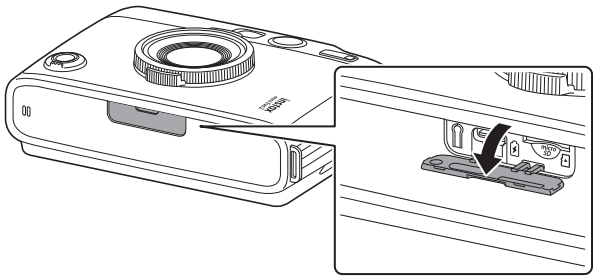
メモリーカードをPCで使用する場合の注意

- 未使用のメモリーカードや、PC、その他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PCでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、削除などの操作を行わないでください。メモリーカードをカメラで使用できなくなることがあります。
- メモリーカード内の画像ファイルの削除はPCで行わないでください。必ずカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動してから編集してください。

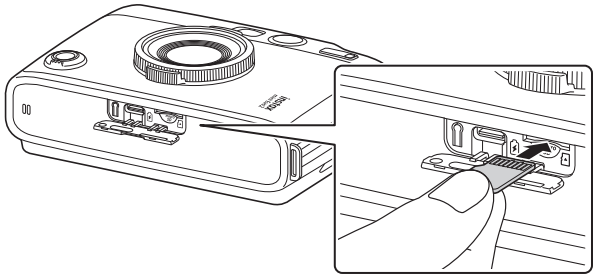
カメラの準備

メモリーカードを入れる

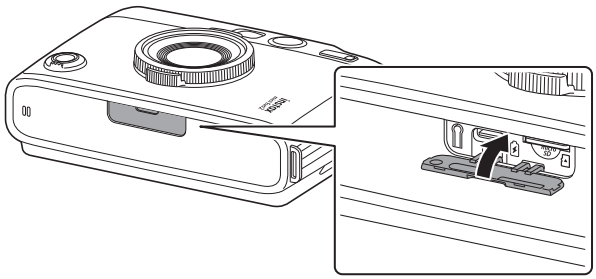
1　カードスロットカバーを開ける



2　図のように正しい向きで、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥まで差し込む

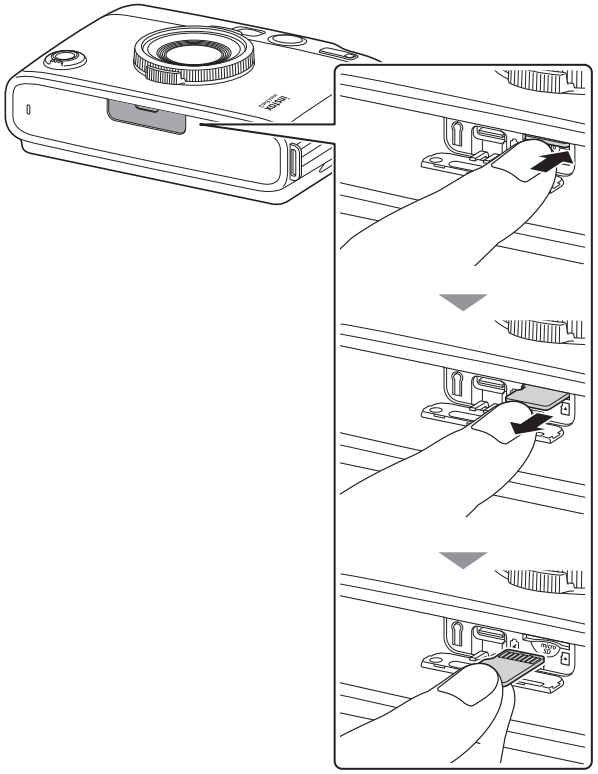


3　カードスロットカバーを閉じる



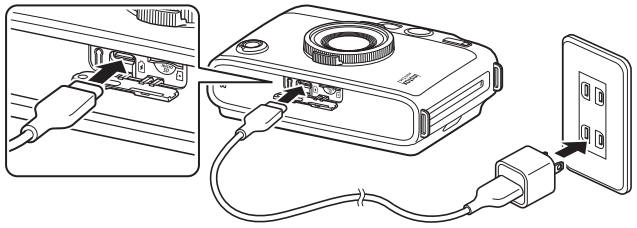
メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻してください。ロックが外れて、取り出すことができます。



メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。メモリーカードが手前に完全に押し出されたことを確認してから、指を離してください。

充電する



カメラとUSB電源アダプタを、付属のUSB Type-Cケーブルで接続し、USB電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

- 充電時間の目安は約2～3時間です。
- 本機の受入電力は最小2.5W～最大5Wとなっております。仕様に合った充電器をご利用ください。

充電状態の表示について

電源オフ時

充電中	充電ランプが点灯します。
充電完了	充電ランプが消灯します。
充電エラー	充電ランプが点滅します。

電源オン時

液晶モニターのバッテリー残量表示が充電中の表示に変わります。



PCから充電するときは：

- USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとPCを接続してください。
- 充電中にPCが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PCの休止状態（スリープ状態）を解除した後、USB Type-Cケーブルを接続し直してください。
- PCの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 付属のUSB Type-Cケーブルは充電専用です。

ご注意

- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願い」を参照してください。（52ページ）

フィルムカートリッジを入れる

注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

- フィルムカートリッジを入れるときは、フィルムカートリッジ背面の2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。
- 有効期限を過ぎたフィルムは絶対に使用しないでください（故障の原因となります）。

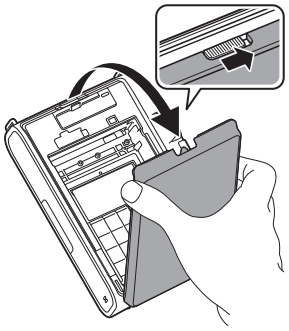
富士フイルム インスタントフィルム instax™ miniをご使用ください。instax™ SQUAREフィルムやinstax™ WIDEフィルムはご使用になれませんので、ご注意ください。

フィルムカートリッジについて

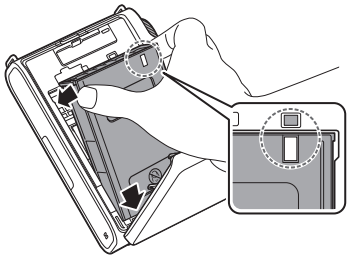
- フィルムカートリッジには黒いフィルムカバー1枚と10枚のフィルムが収納されています。
- フィルムカートリッジはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。
- フィルムドアを閉めると、フィルムカバーが自動的に排出されます。

詳細は、富士フイルム インスタントフィルム instax™ miniの取扱説明を参照してください。

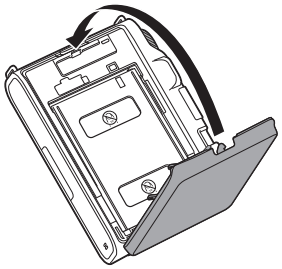
1 フィルムドアロックをスライドさせてロックを外し、フィルムドアを持ち上げる



2 フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラ内部の黄色のマークを合わせ、フィルムカートリッジを入れる



3 フィルムドアを閉じる



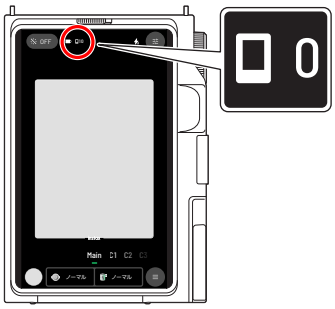
4 自動的に排出される黒いフィルムカバーを取り除く



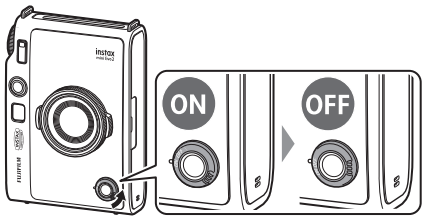
⚠フィルムカートリッジを取り出す

注意
フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

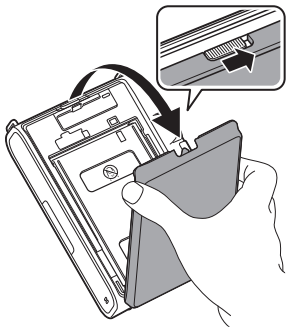
1 液晶モニターでフィルムを使い切ったことを確認する



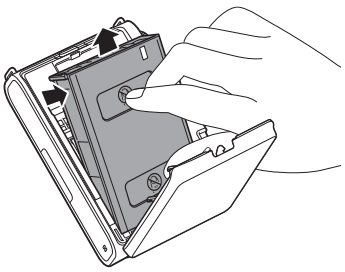
2 カメラの電源を切る



3 フィルムドアロックをスライドさせてロックを外し、フィルムドアを持ち上げる



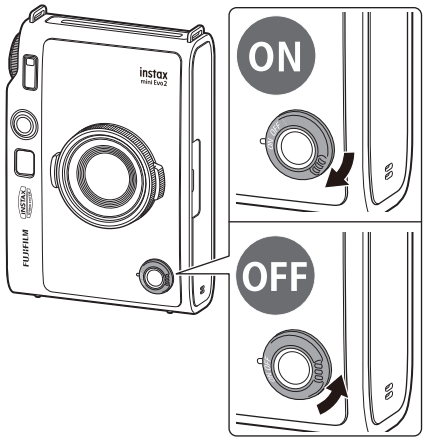
4 フィルムカートリッジの穴をつまみ、フィルムカートリッジを引き出す



カメラの準備

電源を入れる / 切る

電源スイッチを時計回りに回すと電源が入ります。反時計回りに回すと電源が切れます。



ご注意

- 一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、電源スイッチを一旦オフにしてから、オンにすると電源が入ります。
- 電源が切れるまでの時間は、設定メニューの[自動電源OFF]で設定できます。（46ページ）

バッテリー残量の確認方法

液晶モニターの上部（横画面のときは左側）にバッテリー残量が表示されます。

表示	バッテリーの残量
	残量が十分にあります。
	残量が半分以下です。充電することをお勧めします。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。

- バッテリー残量が不足すると、液晶モニター中央にアイコン（）が表示され、電源が切れます。

言語と日時を設定する

購入後初めて電源を入れると、使用する言語や日時を設定する画面が自動で表示されます。

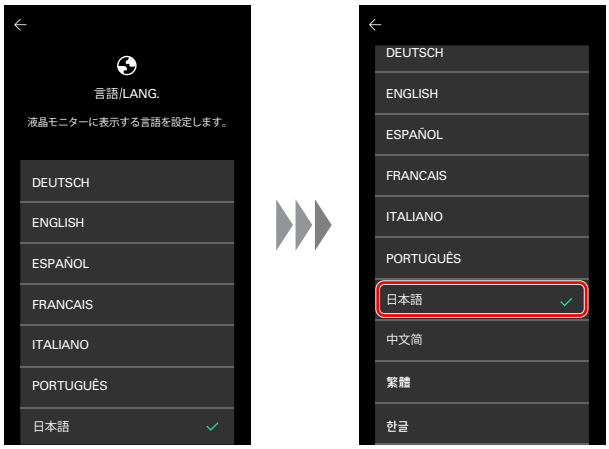
設定はあとで行うこともできます。あとで設定する場合や設定をやり直す場合は、設定メニューの［言語/LANG.］、［日時］から行ってください。

1 電源を入れる

カメラの初回起動時は、言語設定画面が表示されます。

2 画面をスワイプして使用する言語をタップする

初期設定では[日本語]が選択されています。

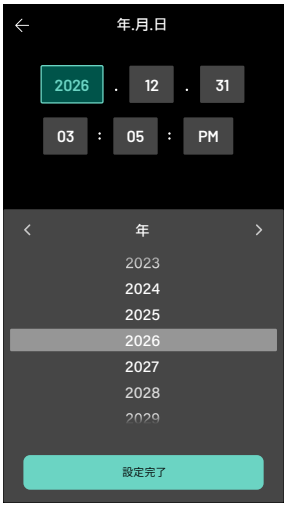


3 使用する年月日の並び順をタップする



4 日時を設定する

設定する項目をタップして選び、画面をスワイプして、数字を選びます。



5 **[設定完了]を選ぶと、日時設定が反映される**

• [←]を選ぶと、撮影画面に戻ります。

Bluetooth ペアリング設定

instax mini Evo 2™ は、スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」と連携するとさまざまな機能が利用できます。アプリと連携するには、スマートフォンとペアリングを行う必要があります。

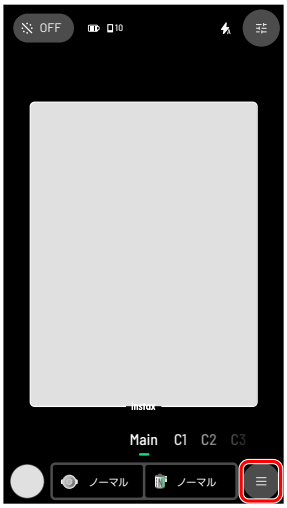
詳しくは、「スマートフォンアプリを設定する」(47ページ) を参照してください。

• あらかじめ、お使いのスマートフォンのBluetooth接続ができる状態にしておいてください。

カメラ

1 **[☰]をタップする**

設定メニューが表示されます。



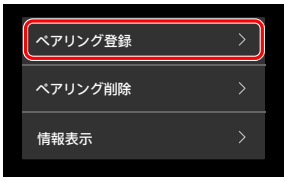
2 **[Bluetooth]を選択する**

Bluetoothメニューが表示されます。



3 **[ペアリング登録]をタップする**

ペアリング登録画面が表示されます。



スマートフォン

4 スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」を起動する

5 [instax mini Evo 2]を選び、[次へ]をタップする



6 スマートフォンアプリの[ ]をタップする



7 表示された画面で、カメラの本体名称を確認し、[接続]をタップする

- Androidはペア設定リクエストが通知されます。iOSでは、ペアリングの要求メニューが表示されます。



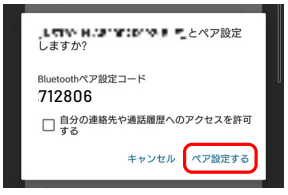
カメラ/スマートフォン

8 カメラとスマートフォンに表示されている6桁の数字が一致していることを確認して、ペアリングを許可する

- カメラ：OKボタンをタップします。



- スマートフォン：[ペア設定する]をタップします。



- スマートフォンの機種によっては、異なる画面が表示される場合があります。

9 ペアリング登録が完了します

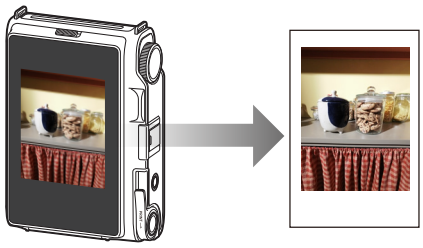
撮影する

撮影について

このカメラは、静止画と動画（instax Immersive Movie™）を撮影することができます。

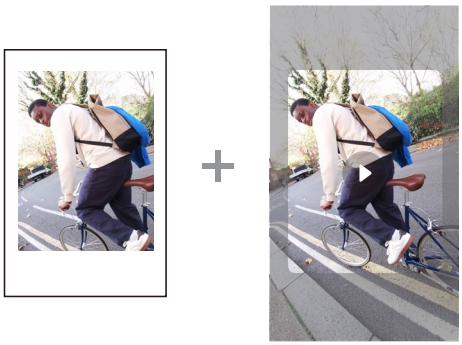
静止画撮影

レンズエフェクトとフィルムエフェクトを組み合わせて多彩な表現の静止画撮影が可能です。



instax Immersive Movie™撮影

instax Immersive Movie™モードでは、静止画に加えて、約5秒間の動画を撮影できます。



静止画　　instax Immersive Movie™（動画）

撮影時の注意

- 撮影するときは脇を締め、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンを押すときは、カメラレンズに触れないように注意してください。
- シャッターボタンを全押しするときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。
- 指やショルダーストラップがフラッシュ、レンズに掛からないように注意してください。
- 暗い場所または逆光環境下では、撮影時にフラッシュが発光することがあります。設定を変更することで、フラッシュが発光しないようにすることもできます。詳細は26 ページの「フラッシュを使用する」をご覧ください。

内蔵メモリーについての注意

- 内蔵メモリーの上限に達すると、シャッターが切れず、撮影ができません。画像を削除するか、メモリーカードを使用してください。
- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
- 大切な画像は、別途バックアップ保存されることをお勧めします。
- カメラを修理に出された場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

静止画を撮影する

基本的な静止画撮影の手順を説明します。

1 電源を入れる

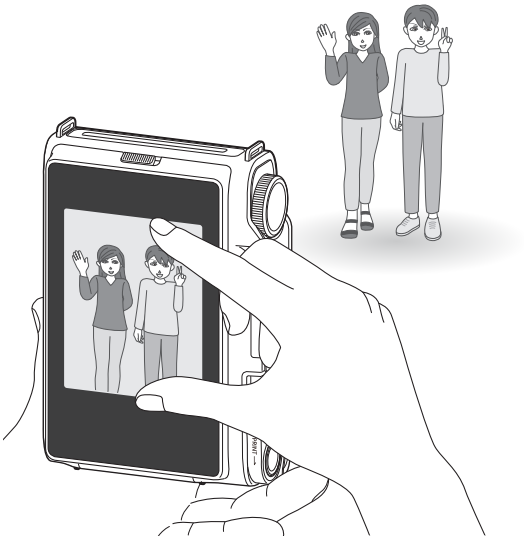
2 必要に応じてエフェクトを選ぶ

3 必要に応じてフラッシュや露出補正などを設定する

4 カメラを構える

5 構図を決める

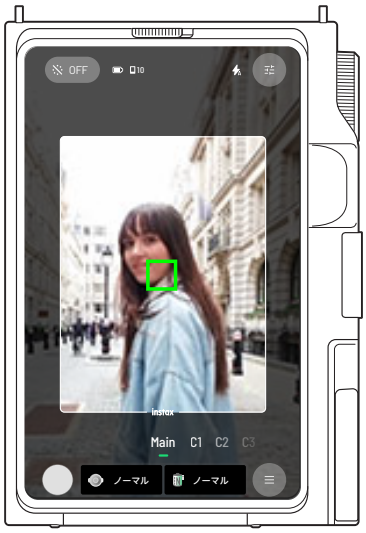
液晶モニターを見ながら、画面をピンチイン/ピンチアウトして、構図を調節します（ズーム機能）。ピンチアウトすると、遠くの被写体を大きく写します。



6 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる



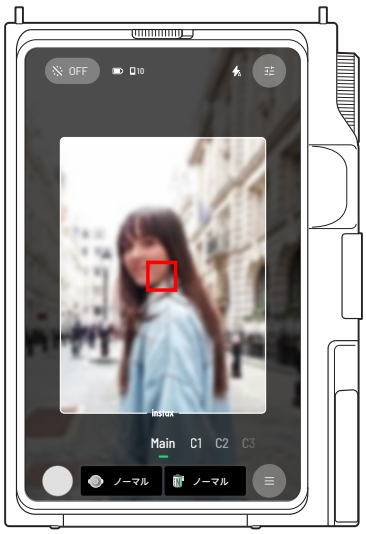
ピントが合ったとき



ピピッと音が鳴り、緑色のAFフレームが液晶モニターに表示されます。

［顔検出］が有効のときは、カメラが人物の顔を認識すると、顔の上に緑色のAFフレームが表示されます。28 ページの「ピントを合わせやすくする」をご覧ください。

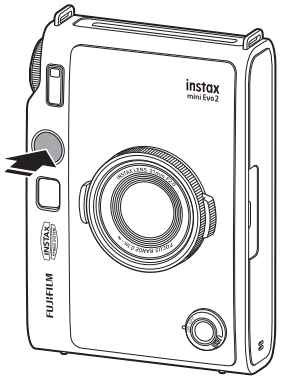
ピントが合わないとき



赤色のAFフレームが液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AEロックを使用してください。18 ページの「AF/AEロックを使用して撮影する」をご覧ください。

7 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

静止画が撮影され、画像が内蔵メモリーまたはメモリーカードに保存されます。



- 撮影した静止画をプリントする手順は、42 ページの「静止画をプリントする」をご覧ください。

AF/AEロックを使用して撮影する

撮影するときに、シャッターボタンを半押しし続けてピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

シャッターボタンを半押しすると、AFとAEがロックされます。

2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変える

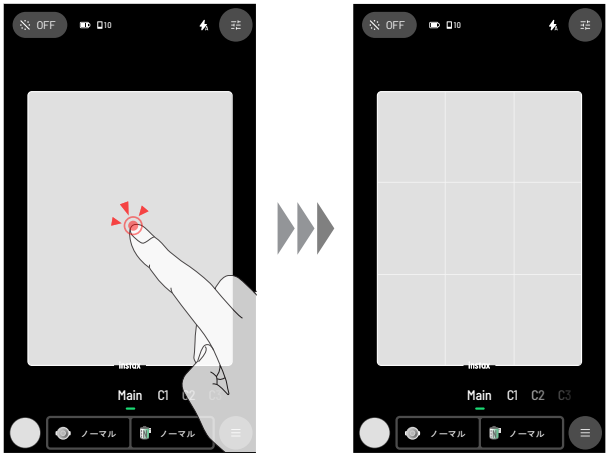
3 シャッターボタンを全押しして撮影する

以下の被写体を撮影するときは、ピントが合いにくくなることがありますので、AF/AEロックを使用して撮影することをお勧めします。

- 鏡や車のボディなど光沢のある被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収する被写体
- 煙や炎などの実体のない被写体
- 背景との明暗差が少ない被写体（背景と同色の服を着ている人物など）
- AFフレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前後に被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

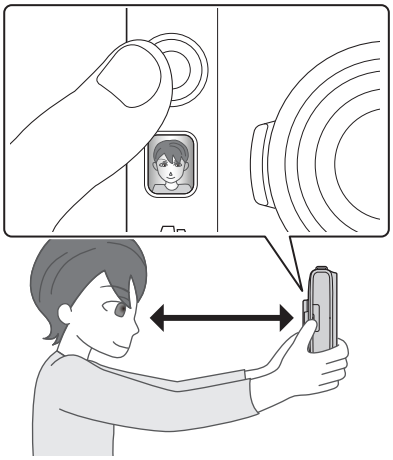
グリッドラインを表示する

画面をタップすると、グリッドラインが表示されます。
構図を決めるときの参考にしてください。
グリッドラインを消すときは、もう一度画面をタップしてください。



セルフィー撮影

セルフィーミラーに被写体を写し、構図を確認しながらセルフィー撮影ができます。



画面の縦横表示について

撮影モードのときに、カメラの向きを変更すると、画面のレイアウトも自動で縦画面または横画面に切り替わります。

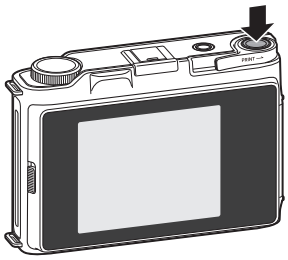


縦画面



横画面

横向きで撮影するときは、プリントレバーの上のシャッターボタンを使うと、撮影しやすくなります。

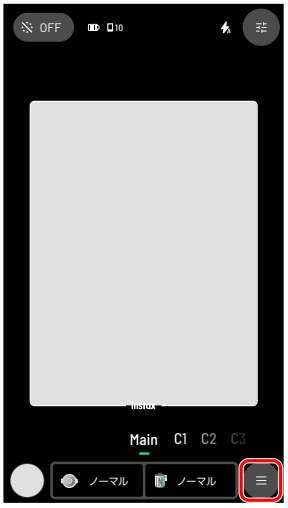


画面の向きを固定する

設定メニューから、画面のレイアウトを自動変更しないよう固定することもできます。

1 [☰]をタップする

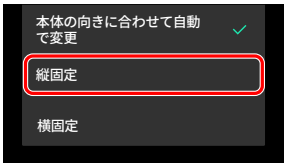
設定メニューが表示されます。



2 [画面向き表示]をタップしてメニューを表示する



3 [縦固定]または[横固定]を選択する



4 [←]を選び、設定を反映する

設定が反映され、設定画面に戻ります。

撮影する

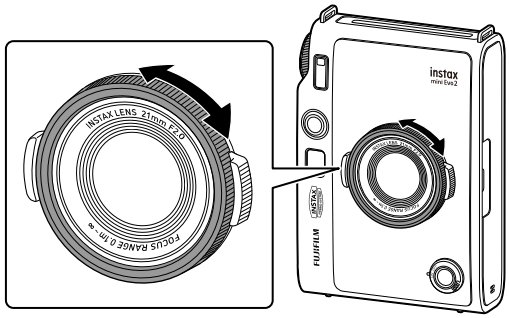
エフェクトを加える

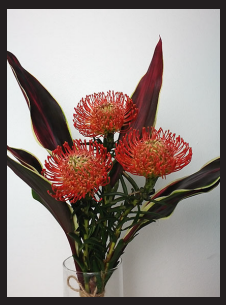
instax mini Evo 2™ では、10種類のレンズエフェクト×10種類のフィルムエフェクトを自由に組み合わせることで、最大100通りの表現で撮影できます。

レンズエフェクト

レンズダイヤルを回して、レンズエフェクトを選ぶ

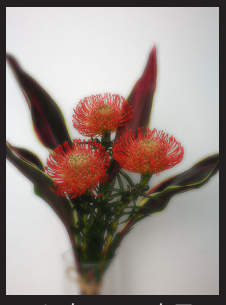
選択したエフェクトが撮影画面に反映されます。

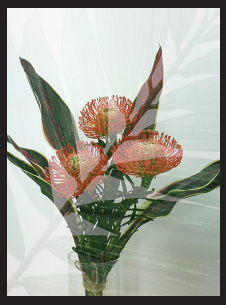


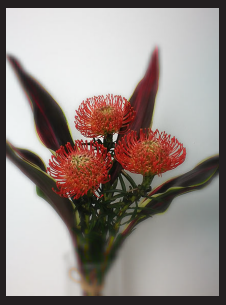

ノーマル


ビネット

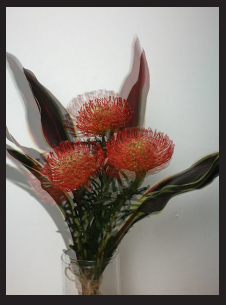

ハーフフレーム

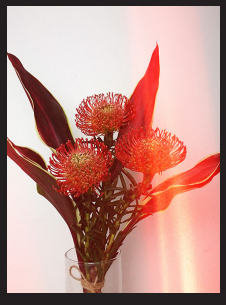

ソフトフォーカス

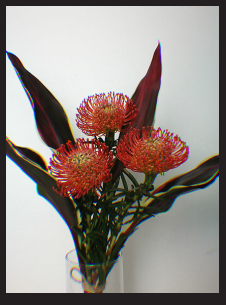

二重露光


ぼかし


広角


残像

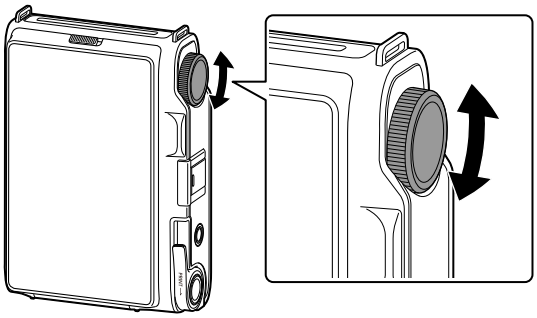

ライトリーク

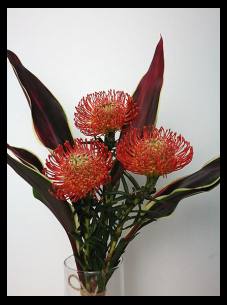

色ずれ

フィルムエフェクト

フィルムダイヤルを回して、フィルムエフェクトを選ぶ

選択したエフェクトが撮影画面に反映されます。

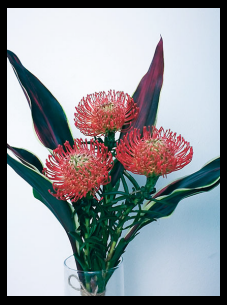


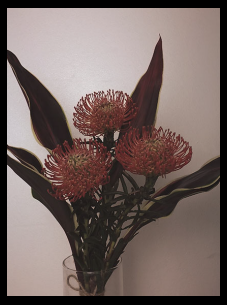

ノーマル


ビビッド


レトロ


淡い


ブルー


ディープ


レッド


モノクロ


イエローグリーン


セピア

エフェクトを登録する

instax mini Evo 2™では、お気に入りのエフェクトの組み合わせを[Main]の他、[C1]/[C2]/[C3]の3つ、計4つまで登録することができます。

- [Main]はカメラの状態保持機能を使って保存されるため、登録は不要となります。

1 設定を登録したい場所（[C1]/[C2]/[C3]）を選択する

[C1]/[C2]/[C3]の切り替えは、撮影画面を左右にスワイプして切り替えることも可能です。



2 ダイヤルを回して、レンズエフェクトとフィルムエフェクトを選ぶ



3 エフェクトを設定した状態で他の画面へ移動すると、そのエフェクトが自動的に登録されます

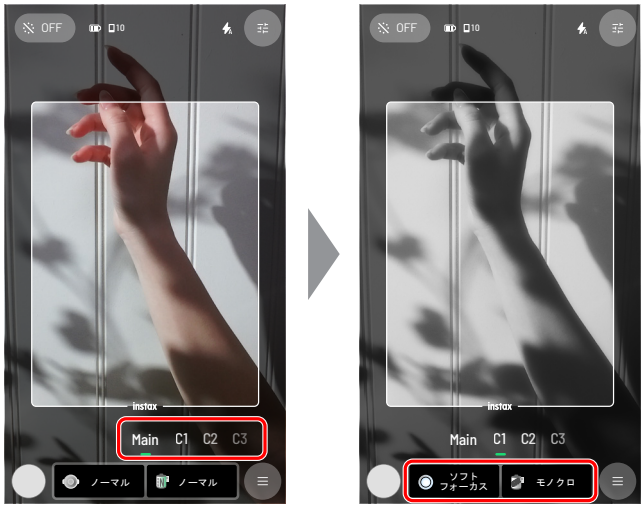


登録したエフェクトを使用する

[Main]および[C1]/[C2]/[C3]に登録したエフェクトはスワイプで切り替えて使用できます。

1 使用するエフェクトを[Main]/[C1]/[C2]/[C3]から選ぶ

登録しているエフェクトの組み合わせが反映されます。



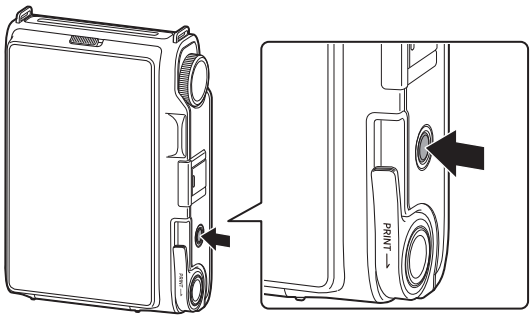
エフェクトをリセットする

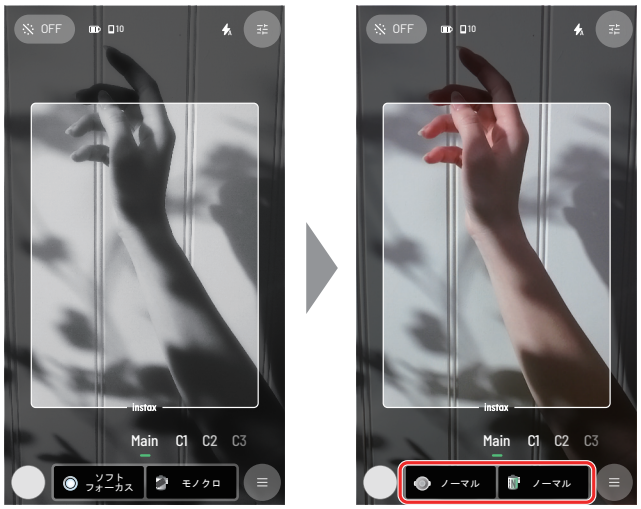
[Main]のエフェクトは、エフェクトリセットボタンを押すと、ノーマルに戻ります。

- [C1]/[C2]/[C3]は、エフェクトリセットボタンを押してもリセットされず、保持されます。
- [C1]/[C2]/[C3]をリセットと同じ状態にする場合は、エフェクトをノーマルに戻して登録すると、リセットと同じ状態にできます。

1 エフェクトの設定がMainの状態でエフェクトリセットボタンを押す

エフェクトがリセットされ、ノーマルに戻ります。





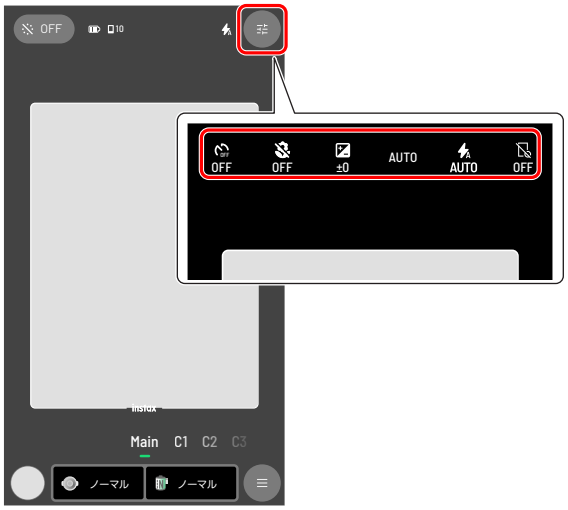
いろいろな撮影 — クイックメニュー

撮影画面で[]をタップして、クイックメニューを表示すると、撮影時の設定を変更することができます。

クイックメニュー（撮影モード）を表示する

1 []をタップして画面を切り替える

画面が切り替わり、クイックメニュー（撮影モード）が表示されます。



セルフタイマーを使用する

撮影者を含めた集合写真を撮影するときや、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐために使用します。

1 []をタップする

セルフタイマーメニューが表示されます。



2 [2秒]または[10秒]を設定する

選択したセルフタイマーの設定が適用され、画面上部のアイコンが変わります。

- セルフタイマーを設定しない場合は[OFF]を選びます。

3 画面の任意の場所をタップする

撮影画面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

カウントダウンが始まり、設定秒数後に自動で撮影されます。

[2秒]を選んだ場合:

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅します。

[10秒]を選んだ場合:

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点灯し、撮影の3秒前からは点滅に変わります。

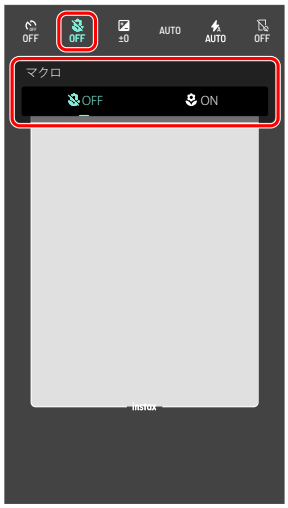
撮影する

接写 — マクロ撮影を使用する

マクロ設定をONにすると、接写で撮影するときに被写体にピントを合わせやすくなります。

1 [マクロ]をタップする

マクロメニューが表示されます。



2 [ON]を選ぶ

マクロ設定が適用されます。



3 画面の任意の場所をタップする

撮影画面に戻ります。

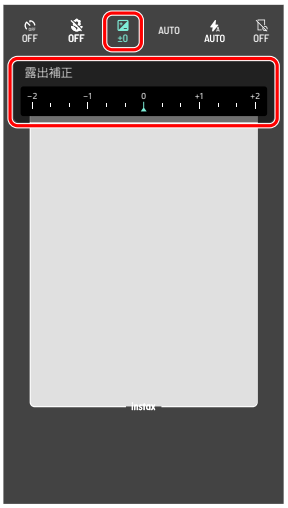
マクロをオフにするときは、[OFF]を選んでください。

画像の明るさを変える

画像の明るさを調整します。ライトや日差しの強い環境、夜間時の撮影、明暗のコントラストが大きい場合などに使用します。

1 [±0]をタップする

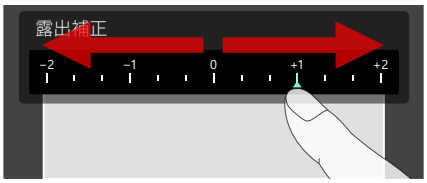
露出補正メニューが表示されます。



2 スライダーを動かして、露出値を確定する

- ＋側に露出を補正すると、画像全体を明るくできます。
- －側に露出を補正すると、画像全体を暗くできます。

画像全体が暗くなる　　画像全体が明るくなる



3 画面の任意の場所をタップする

撮影画面に戻ります。

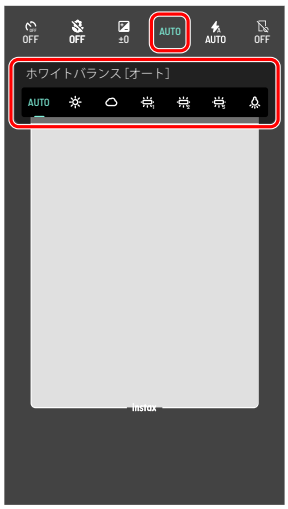
撮影する

ホワイトバランスを設定する

太陽光や照明などの光源に合わせてホワイトバランスを設定することにより、肉眼で見たときの色合いに近い状態で撮影できます。

1 [AUTO]をタップする

ホワイトバランスメニューが表示されます。



2 ホワイトバランスの設定を選ぶ

設定の詳細は、以下の「ホワイトバランスの種類」を参照してください。

3 画面の任意の場所をタップする

撮影画面に戻ります。

■ホワイトバランスの種類

AUTO **AUTO**

カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
通常の撮影では、AUTOをお勧めします。

晴れ

晴天の屋外での撮影用です。

日陰

曇天や日陰などでの撮影用です。

蛍光灯 1

昼光色蛍光灯の下での撮影用です。

蛍光灯 2

昼白色蛍光灯の下での撮影用です。

蛍光灯 3

白色蛍光灯の下での撮影用です。

電球

電球、白熱灯の下での撮影用です。

フラッシュを使用する

夜間や暗い室内などの環境下では、フラッシュの使用が推奨されます。フラッシュの使用を[OFF]に設定することもできます。

1 [A]をタップする

フラッシュメニューが表示されます。



2 フラッシュの設定を選ぶ

設定の詳細は、以下の「フラッシュの種類」を参照してください。

3 画面の任意の場所をタップする

撮影画面に戻ります。

■フラッシュの種類

OFF

フラッシュを使用しない設定です。周囲が暗いときでも、フラッシュは発光しません。フラッシュ使用が禁止されている場所などでの撮影に適しています。
フラッシュを使用せずに暗いところで撮影する場合は、カメラをテーブルなどに固定して撮影することをお勧めします。

強制発光

周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

AUTO

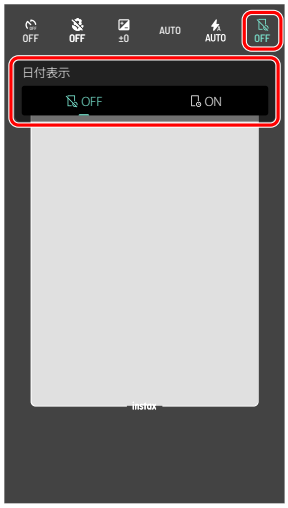
周囲が暗い場合は、自動でフラッシュが発光します。ほとんどの状況に適した設定です。

写真に日付を入れる — 日付表示

日付表示を使用すると、写真に日付を入れて撮影することができます。

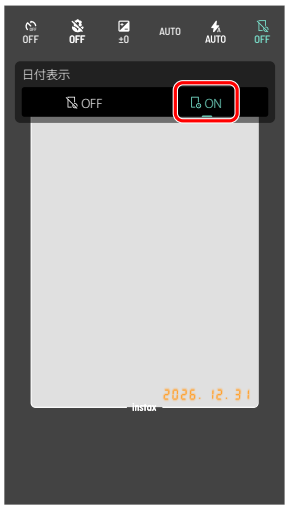
1 **[]をタップする**

日付表示メニューが表示されます。



2 **[ON]を選ぶ**

設定が適用されて、画面に日付が表示されます。



3 **画面の任意の場所をタップする**

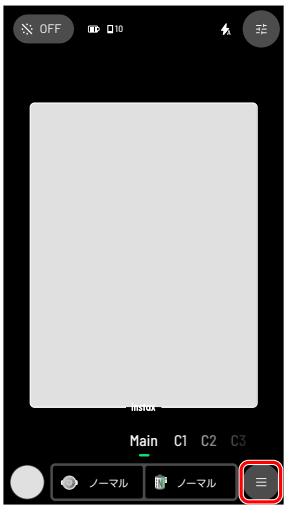
撮影画面に戻ります。

日付表示の位置を選ぶ

日付表示の位置は、設定メニューの[画面向き表示]から選ぶことができます。

1 **[]をタップする**

設定メニューが表示されます。



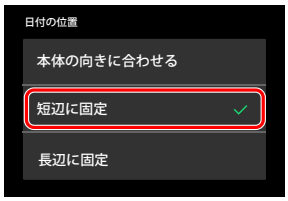
2 **[画面向き表示]をタップする**

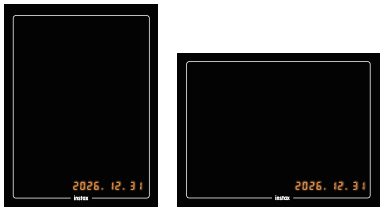
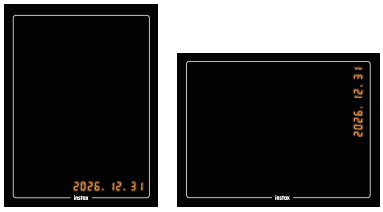
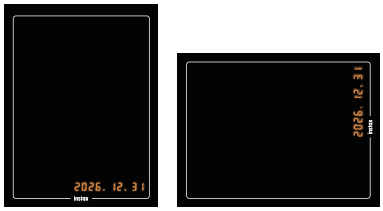
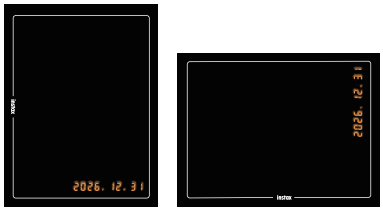
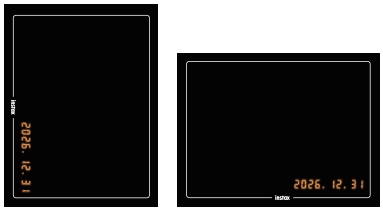


3 **日付の位置設定メニューまでスクロールする**



4 日付の位置を選ぶ



本体の向きに合わせる	本体の向きに合わせて表示します。 
短辺に固定	短辺に固定で表示します。  [撮影画面の表示]が[本体の向きに合わせて自動で変更]の場合  [撮影画面の表示]が[縦固定]の場合  [撮影画面の表示]が[横固定]の場合
長辺に固定	長辺に固定で表示します。 

5 [←]をタップする

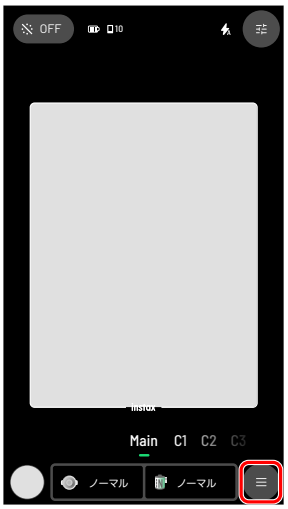
設定が反映され、撮影画面に戻ります。

ピントを合わせやすくする

顔検出機能とAF補助光を有効にすると、ピントが合わせやすくなります。

1 [☰]をタップする

設定メニューが表示されます。



2 [顔検出]または[AF補助光]をオンにする

トグルスイッチをONにして、設定を適用します。



顔検出	顔検出をオンにすると、カメラが人物の顔を検出し、ピントを合わせます。
AF補助光	オンにすると、撮影時にピントが合うまでの間、AF補助光が発光し、被写体のピントを合わせやすくします。

3 [←]をタップする

撮影画面に戻ります。

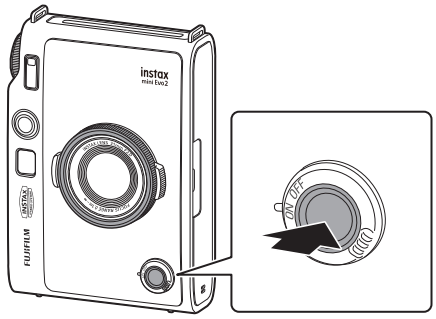
instax Expanded View™

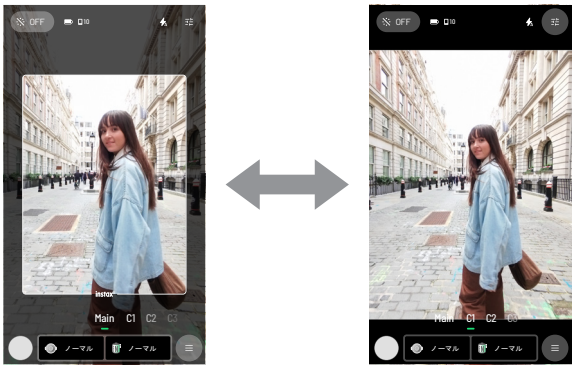
instax Expanded View™をONにすると、撮影範囲を示す枠が表示されます。instax Expanded View™はボタンでON/OFFの切り替えが可能です。

※ ONで撮影をすると6MP、OFFで撮影すると13MP（microSDメモリーカード挿入時）で記録されます。

1 instax Expanded View™ ON/OFFボタンを押して、表示を切り替える

instax Expanded View™ ON/OFFボタンを押すたびに表示が切り替わります。





ON　　OFF

instax Expanded View™	ON	OFF
microSDメモリーカード保存時	6MP	13MP
内蔵メモリー保存時	6MP	6MP

- instax Immersive Movie™モードにすると、instax Expanded View™は自動的に表示されます。OFFにすることはできません。

instax Expanded View™の設定をする

撮影画面に表示される枠の種類やinstax™ロゴの有無などを設定することができます。

1 [☰]をタップする

設定メニューが表示されます。

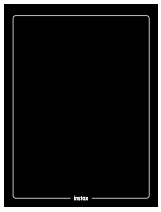
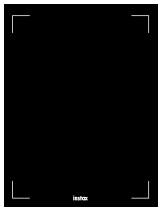
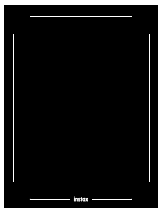


2 [instax Expanded View]を選ぶ



3 [グレーアウト]、[ロゴ]、[ライン]の設定をする



グレーアウト	なし	フレームの外をグレーアウトしません。
	デフォルト	フレームの外をグレーアウトします。
	濃い	フレームの外を濃くグレーアウトします。
ロゴ	instax™ロゴの表示/非表示を設定します。	
ライン	枠の種類を選びます。  ノーマル  コーナー  サイド	

4 画面左上の[←]をタップする

設定が反映され、設定画面に戻ります。

instax Immersive Movie™ を撮影する

instax Immersive Movie™モードでは、静止画と動画を一度に撮影できます。

- 静止画はシャッターを押したときのデータが保存されます。（通常時の撮影と同様）
- 動画はシャッターボタンを押す直前から押した瞬間までを含む5秒間の映像を保存できます。また、動画はinstax Expanded View™の外側（液晶画面全体）まで映像が撮影されます。
- **instax Immersive Movie™モードの撮影には、メモリーカードが必要です。**

1 メモリーカードを入れる

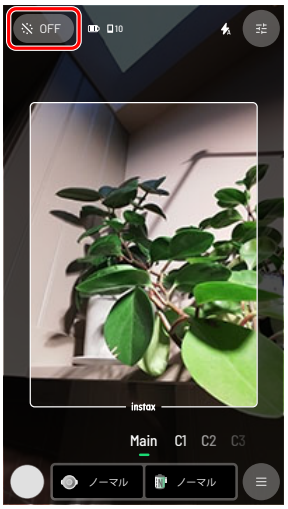
事前にメモリーカードをカメラに挿入しておきます。メモリーカードを挿入していないと警告が表示され、撮影ができません。

※メモリーカードはカメラの電源を一旦オフにしてから挿入してください。

2 [OFF]をタップする

表示が[OFF]から[ON]に変わると、撮影可能になります。

横画面のときは、表示が[ ]に変わると撮影可能です。



- 横画面のときは、ON/OFFの文字は表示されません。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

通常の静止画と、5秒間の動画が保存されます。

撮影設定を適用する

instax mini Evo 2™ では、撮影済みの画像設定を流用して撮影することもできます。

- [ⓘ]を選ぶと、撮影済み画像の撮影情報を確認することができます。また、[設定を適用]を選ぶと、設定が反映された撮影画面に遷移します。

1 撮影済みの画像を再生する

画像を再生する方法は、32ページをご覧ください。

2 [ⓘ]をタップする

撮影時の設定が表示されます。



3 [設定を適用]をタップする

撮影設定が適用され、撮影画面に戻ります。



4 シャッターボタンを押して撮影する

再生する

撮影した静止画 / 動画を再生する

撮影した静止画/instax Immersive Movie™を液晶モニターで再生できます。

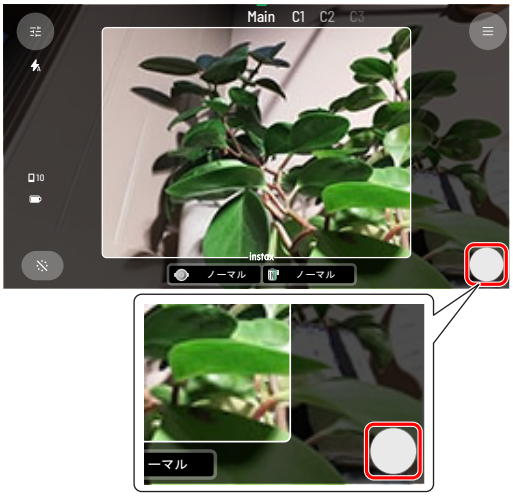
1 撮影時に表示される[再生画面切り替えボタン]をタップする

再生画面に移行します。

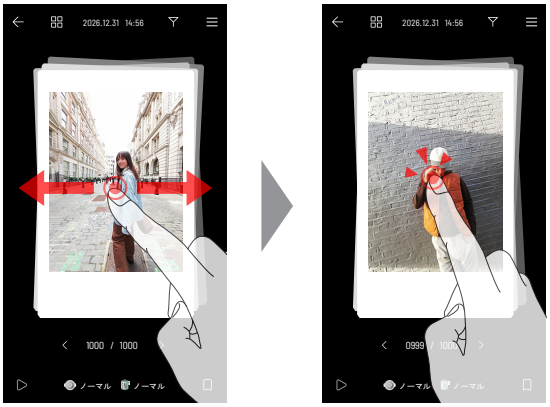
縦画面のとき
[再生画面切り替えボタン]：
画面の左下



横画面のとき
[再生画面切り替えボタン]：
画面の右下



2 左右にスワイプして画像を選び、再生する画像をタップする

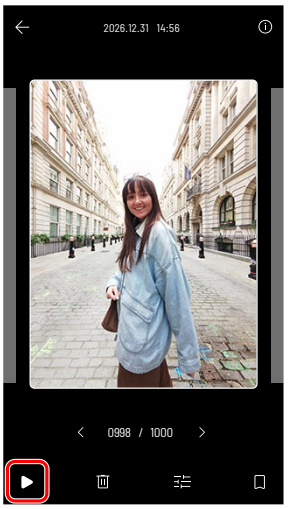


3 静止画を拡大する場合は、画面をピンチイン/ピンチアウト、スワイプで調整する



4 [▶]を押して、instax Immersive Movie™を再生する

動画が再生されます。



■撮影画面に戻る

以下のいずれかの操作をしてください。

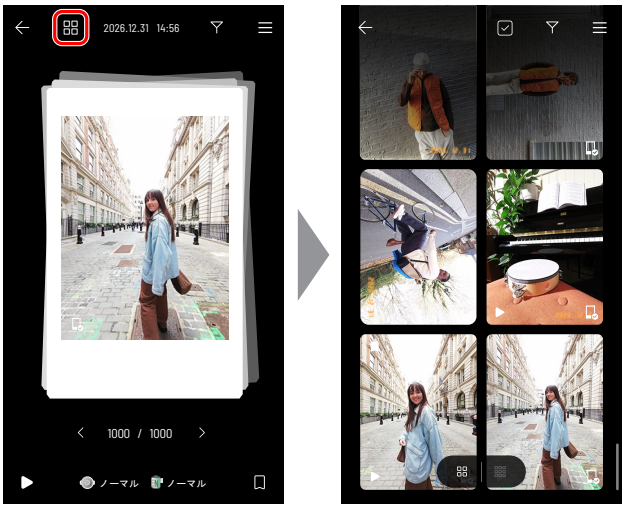
- シャッターボタンを押す
- [←]をタップする

■表示する画像枚数を変更する

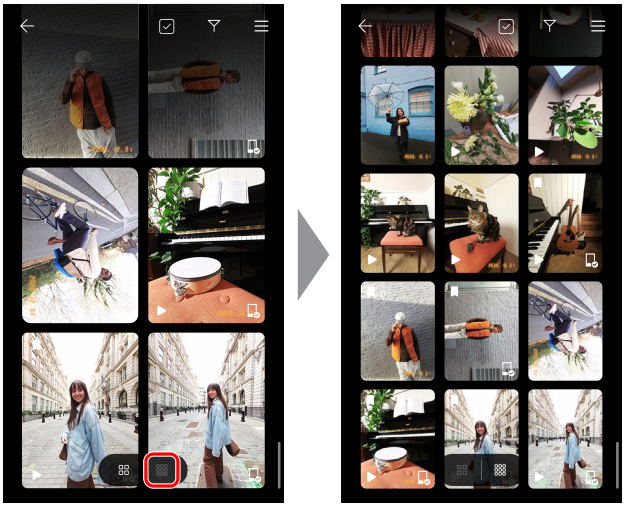
再生画面を表示中に[⊞]をタップすると、画像の表示を2列表示に変更することができます。2列表示のときに[⊞]をタップすると、3列表示に変更することができます。

- 設定メニューの[縦横表示]を[ON]にすると、横方向で撮影した画像が、横向きで表示されます。（45ページ）

■１枚表示→２列表示



■２列表示→３列表示



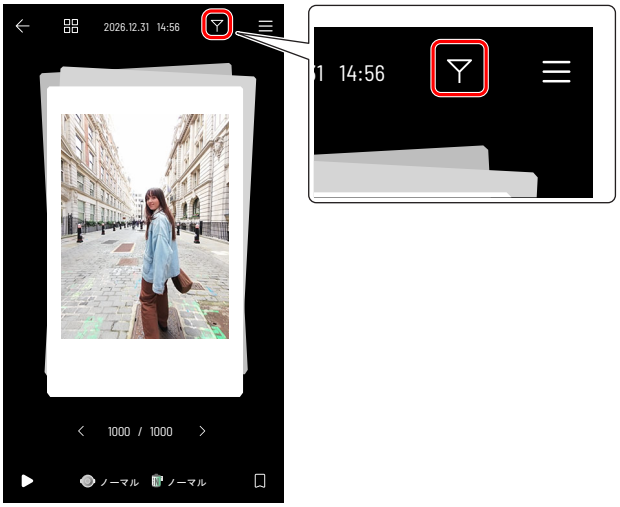
- [⊞]をタップすると、2列表示に戻ります。
- 画像は撮影順に表示されます。

条件指定で表示画像を絞り込む

撮影した画像は、キーワード選択で絞り込み表示が可能です。

1　[▽]をタップする

絞り込みのキーワード一覧画面が表示されます。



2　キーワードを選択後に、[絞り込み]をタップする

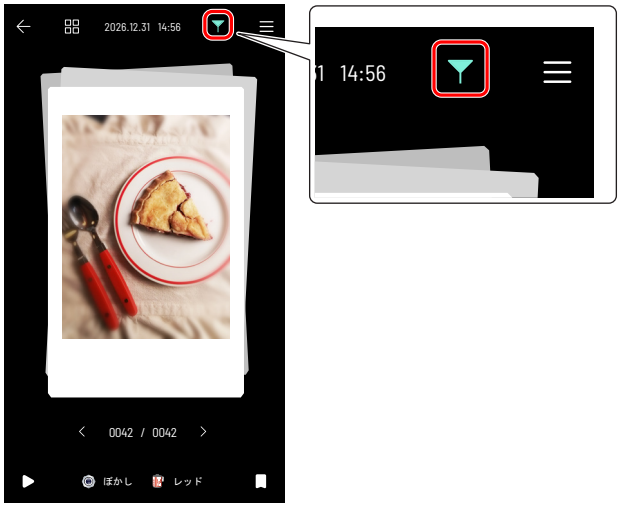
キーワードを選択すると、画像が絞り込まれます。また、キーワードは複数組み合わせることが可能です。



- 条件が未選択の場合、または条件に一致する画像がない場合は、[絞り込み]を選択できません。
- 条件をリセットしたいときは、[リセット]を選択してください。

3　条件に一致した画像のみが表示される

画像の絞り込みが適用されているときは、▽の色が緑色に変わります。



画像をお気に入りに登録する

撮影した画像をお気に入り登録することができます。
お気に入りに登録した画像は、絞り込みで簡単に検索することができます。(33ページ)

1枚表示のとき

1　お気に入りに登録したい画像を表示する

2　[🔖]をタップする

🔖が🔖に変わり、選択した画像がお気に入りに登録されます。



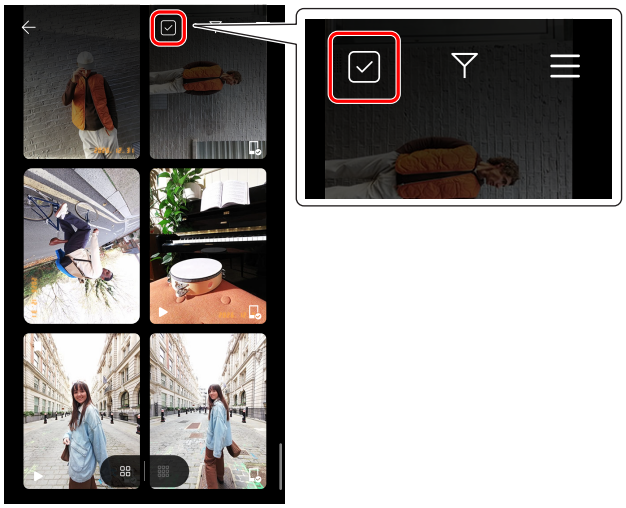
■お気に入りを解除するときは

解除したい画像を表示して、[🔖]をタップしてください。
🔖が🔖に変わり、選択した画像がお気に入りから解除されます。

2列/3列表示のとき

再生画面を2列/3列表示にすると、複数の画像を一度にお気に入りに登録できます。

1　[☑]をタップする



2 お気に入りに登録したい画像をタップして、チェックマークを付ける

選択した画像に☑マークが表示されます。



- 画像選択を誤った場合、もう一度画像をタップすることで選択を解除することができます。
- [全て選択]を選ぶと、全画像が選択中の状態になります。

3 [お気に入り]をタップする

選択した画像がお気に入りに登録されます。



■お気に入りを解除するときは（2列/3列表示の場合）

2列/3列表示の画面で画像を選択します。複数枚の選択が可能です。[解除]を選ぶと、お気に入りから解除されます。

- 画像が未選択の場合は、[お気に入り]または[解除]を選ぶことができません。

静止画を編集する

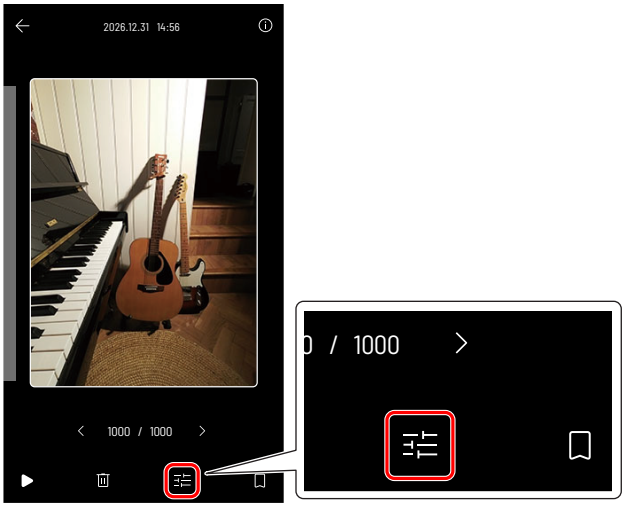
カメラ本体の編集メニューを使って、静止画の編集ができます。

1 編集したい静止画を表示して、静止画をタップする

詳細再生画面が表示されます。

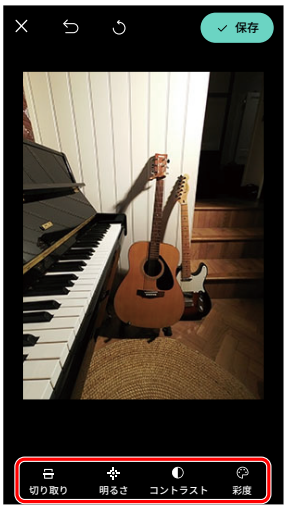
2 [ ]をタップする

画像編集メニューが表示されます。



3 メニューから項目を選んで、静止画を編集する

各項目の設定方法については、「画像編集メニューを使い、静止画を編集する」(36ページ) をご覧ください。



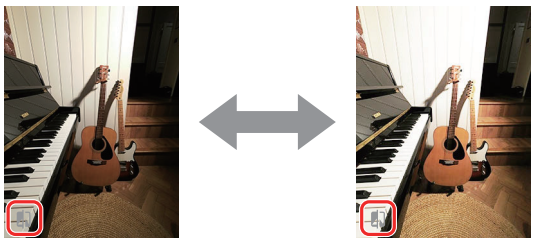
切り取り	静止画の傾きやサイズを微調整できます。
明るさ	静止画の明るさを調整します。
コントラスト	静止画のコントラストを調整します。
彩度	静止画の彩度を調整します。

■編集中の作業を戻す/リセットする/中止する

- 一つ前の設定に戻るときは、[⮌]を選んでください。
- 変更した設定をリセットしたい場合、[↺]を選んでください。
- 設定を中止するときは、[X]を選んでください。

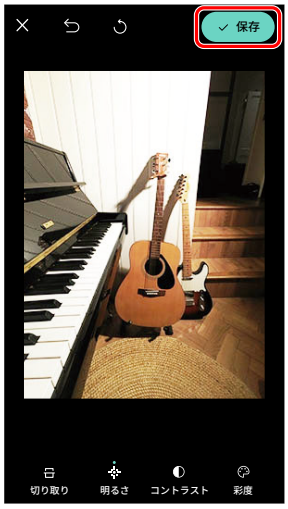
編集前と編集後の画像を比較したいとき

編集前のオリジナル画像と編集後の画像を切替表示できるため、編集内容を簡単に確認することができます。



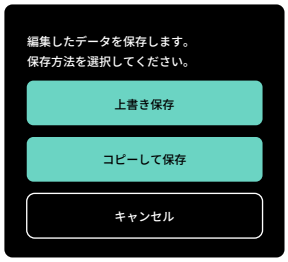
オリジナル画像　　編集後の画像

4 [✓保存]をタップする



5 編集した静止画の保存方法を選ぶ

編集した静止画は、上書き保存もしくはコピーをして別途保存することができます。



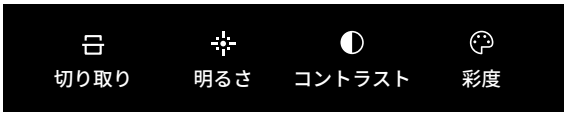
- 設定を保存する前の状態で、[×]をタップして、[破棄]を選択すると、編集中のデータが失われるため、ご注意ください。
- 編集画面に戻りたい場合は、[キャンセル]を選んでください。

画像編集メニューを使い、静止画を編集する

[切り取り]、[明るさ]、[コントラスト]、[彩度]の各項目の適用方法を説明します。
編集中の操作は液晶モニターに反映されるので、液晶モニターを見ながら調整できます。

ご注意
[✓]をタップしても、変更した項目はまだ保存されていません。編集画面に戻った際に表示される[✓保存]ボタンを押して、画像を保存してください。

■編集メニュー一覧



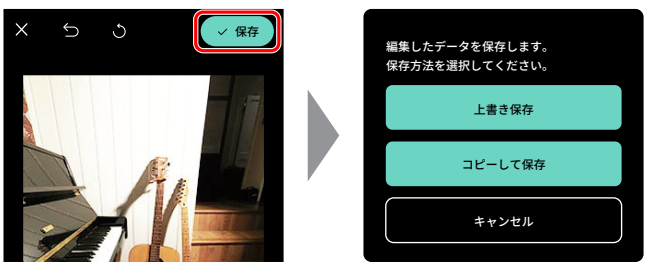
編集メニューは[切り取り]、[明るさ]、[コントラスト]、[彩度]の項目が用意されています。
画像を編集したときは、各項目のアイコン上部に緑色の点が表示されます。複数の編集を組み合わせることも可能です。

■選択メニュー一覧

↺	変更した設定をリセットします。
X	編集を中止します。
✓	調整した編集を適用し、再生画面に戻ります。再生画面では保存を適用したり、他の項目の編集画面に移行できます。

■保存メニュー

編集終了後、[✓保存]を押すと詳細再生画面に戻ります。他の編集メニューに移ることもできます。編集が終わったら、コピーして保存、上書き保存で編集は完了です。編集を破棄する場合は[キャンセル]を選びます。



静止画を切り取る

静止画の傾きやサイズを微調整して、好きな部分を切り取ることができます。

1 [⊟]をタップする

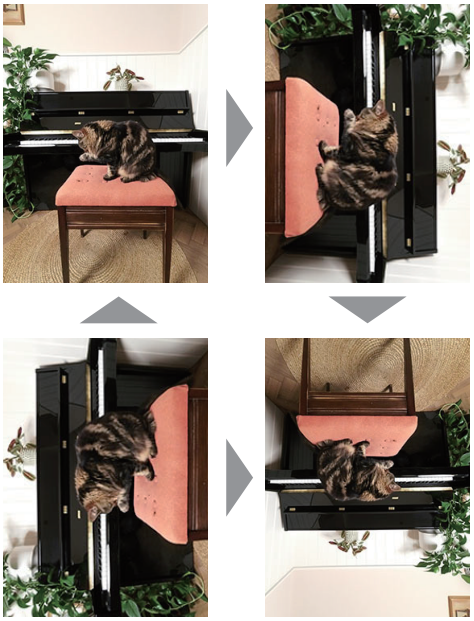
切り取りメニューが表示されます。



- 画像に細かいグリッドラインが表示されます。静止画を切り取る際の参考にしてください。

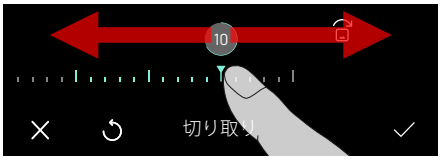
2 [⟲]を選び、静止画の向きを決める

静止画が時計回りに90度ずつ回転します。

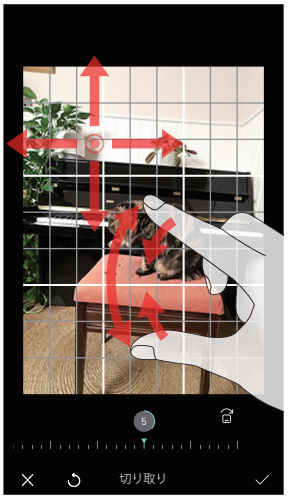


3 目盛りを動かして、静止画の角度を微調整する

反時計回りに傾く　　時計回りに傾く

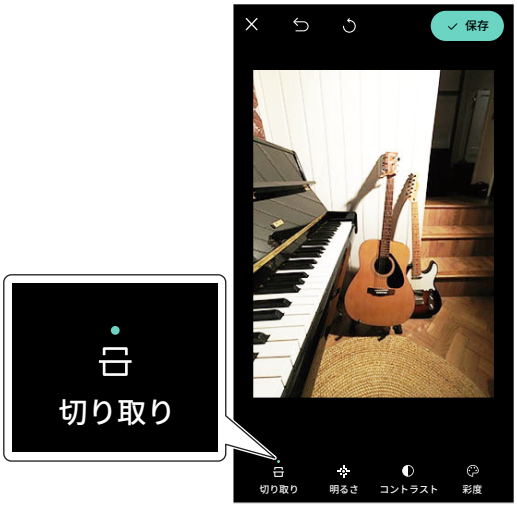


4 静止画を拡大・縮小したり、位置を移動したりして、切り取り範囲を調整する



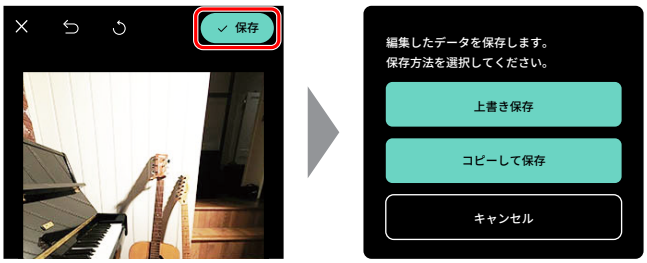
5 [✓]をタップする

詳細再生画面に戻り、編集メニュー上部に緑色のアイコンが表示されます。



6 データを保存する

- データを保存する場合：画面上部のアイコンから保存方法を選びます。



- 他のメニューも編集する場合：編集したい編集メニューを選び、編集を続けます。
- キャンセルする場合：[キャンセル]を選んでください。

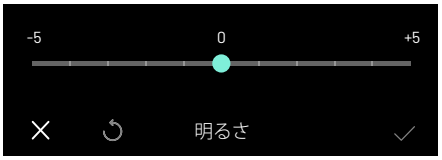
再生する

明るさを調整する

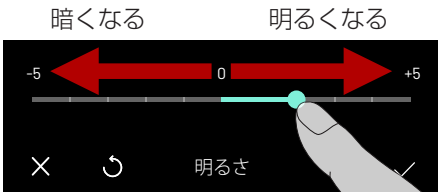
静止画の明るさを調整して、写真を見やすくすることができます。

1 [☼]をタップする

明るさメニューが表示されます。

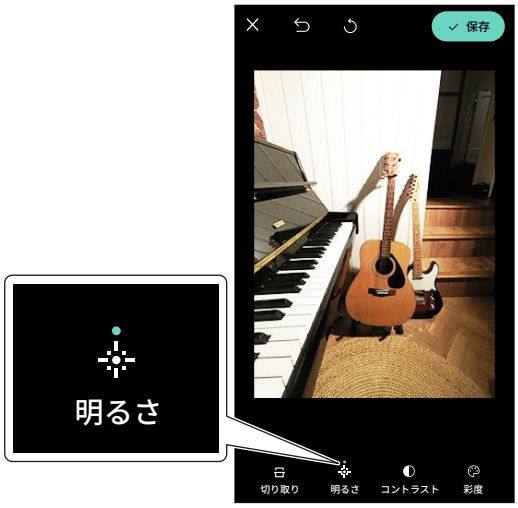


2 スライダーを動かして明るさを調整する



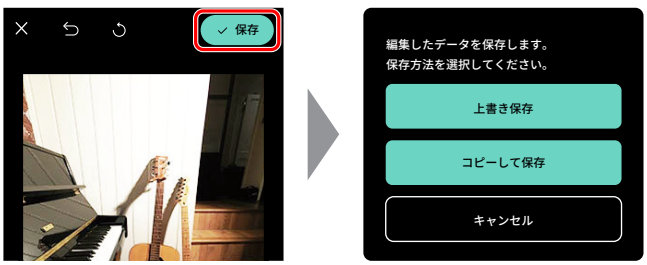
3 [✓]をタップする

詳細再生画面に戻り、編集メニュー上部に緑色のアイコンが表示されます。



4 データを保存する

- データを保存する場合：画面上部のアイコンから保存方法を選びます。



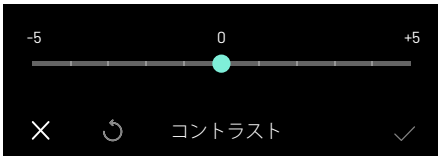
- 他のメニューも編集する場合：編集したい編集メニューを選び、編集を続けます。
- キャンセルする場合：[キャンセル]を選んでください。

コントラストを調整する

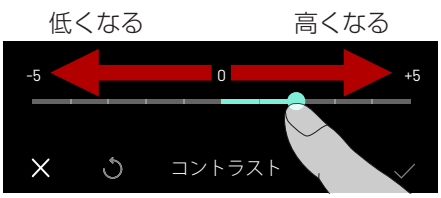
画像の明暗を調整します。数値をあげると色の明暗が強くなり、下げると差分が少ない画像になります

1 [◐]をタップする

コントラストメニューが表示されます。

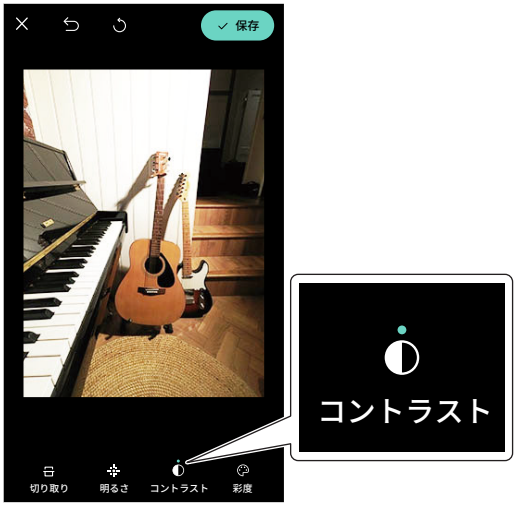


2 スライダーを動かしてコントラストを調整する



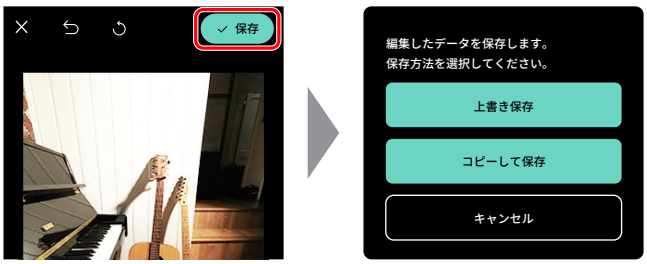
3 [✓]をタップする

詳細再生画面に戻り、編集メニュー上部に緑色のアイコンが表示されます。



4 データを保存する

- データを保存する場合：画面上部のアイコンから保存方法を選びます。



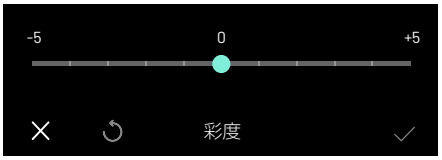
- 他のメニューも編集する場合：編集したい編集メニューを選び、編集を続けます。
- キャンセルする場合：[キャンセル]を選んでください。

彩度を調整する

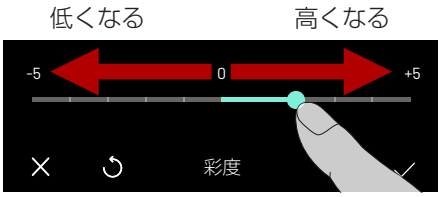
色を鮮やかにしたり、落ち着いた雰囲気にできます。

1 [🎨]をタップする

彩度メニューが表示されます。

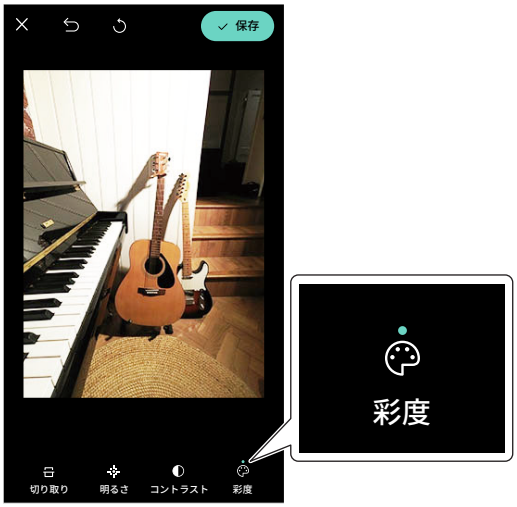


2 スライダーを動かして彩度を調整する



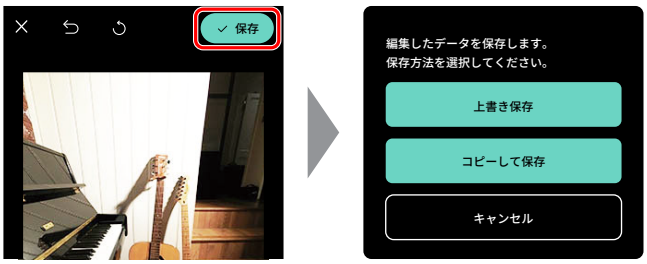
3 [✓]をタップする

詳細再生画面に戻り、編集メニュー上部に緑色のアイコンが表示されます。



4 データを保存する

- データを保存する場合：画面上部のアイコンから保存方法を選びます。



- 他のメニューも編集する場合：編集したい編集メニューを選び、編集を続けます。
- キャンセルする場合：[キャンセル]を選んでください。

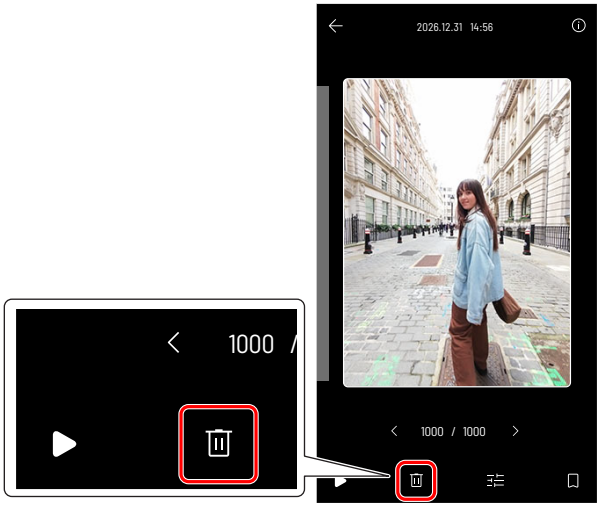
画像を削除する

不要な画像は、再生画面のメニューから選択して削除できます。

1枚表示のとき

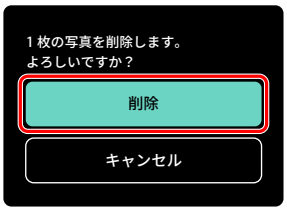
1 削除したい画像を表示する

2 [🗑]をタップする



3 画像を確認して、[削除]をタップする

画像が削除されます。



- 削除を中止するときは、[キャンセル]をタップしてください。

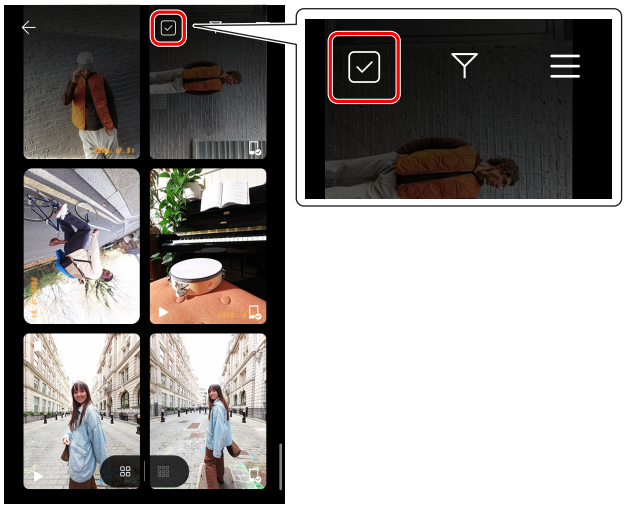
2列/3列表示のとき

再生画面を2列/3列表示にすると、複数の画像を選択して削除できます。

1 再生画面で2列もしくは3列表示にする

2 画面上部にある[☑]をタップする

画像の選択が可能になります。



3 削除したい画像を選択して、チェックマークを付ける

選択した画像に☑マークが表示されます。

- すべての画像を削除する場合は、[全て選択]をタップしてください。

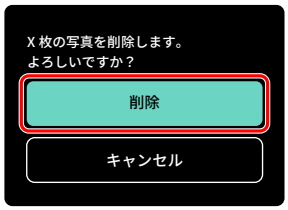


- 選択する画像を誤ったときは、もう一度その画像をタップしてください。選択が解除されます。

4 削除したい画像をすべて選択後、[削除]を選ぶ



5 [削除]を選ぶと、選択した画像が削除される



- 削除を中止するときは、[キャンセル]を選択してください。
- 画像が未選択の場合は、[削除]を選択できません。

プリントする

静止画をプリントする

撮影した静止画をカメラから直接プリントできます。

1 撮影時に表示される[再生画面切り替えボタン]をタップする

再生画面に移行します。

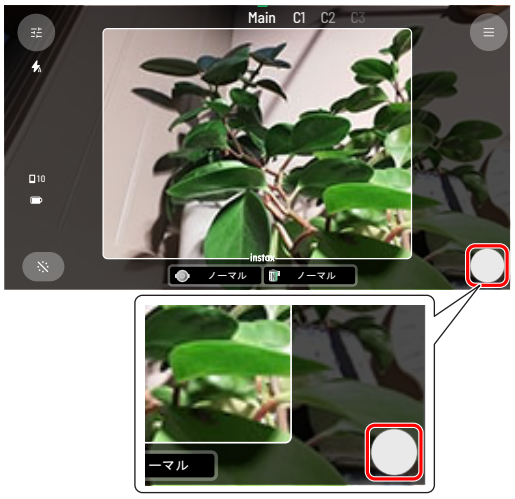
縦画面のとき

[再生画面切り替えボタン]：
画面の左下



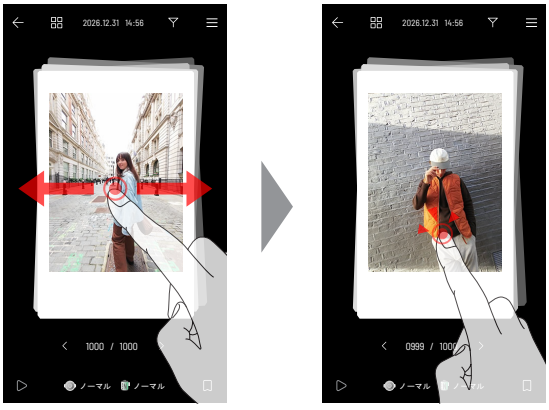
横画面のとき

[再生画面切り替えボタン]：
画面の右下



2 プリントしたい静止画を選ぶ

画面をスワイプしてプリントする画像を表示します。

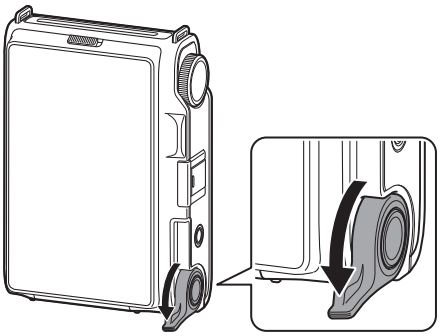


3 必要に応じて、設定メニューでプリント画像の画質と明るさの調整を行う

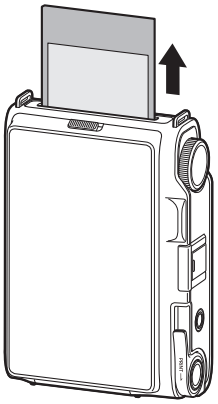
操作方法について詳しくは、43ページの「プリント画像の画質と明るさを設定する」をご覧ください。

4 プリントレバーを矢印の方向に回転する

プリントが始まります。



5 フィルムの排出が完全に止まるまで待つ



6 フィルムの先端を持って、プリントした静止画を取り出す

排出音が止まってからフィルムのフレーム部分を持って取り出してください。

- プリントした静止画には、（プリント済み）マークが表示されます。

ご注意

指やストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

■フィルム残量の確認方法

フィルム残量は液晶モニターの上部（横画面のときは左側）に表示されます。



- フィルムの取り扱いについては、富士フイルム インスタントフィルム instax™ miniの取扱説明を参照してください。
- フィルムの現像時間は約90秒です（気温によって時間は変動します）。

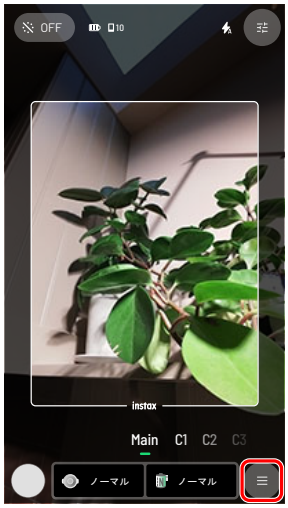
プリント画像の画質と明るさを設定する

プリント画像の画質を選ぶ

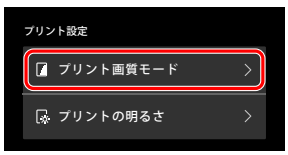
プリントするときの画質を選ぶことができます。

1 [☰]をタップする

設定メニューが表示されます。

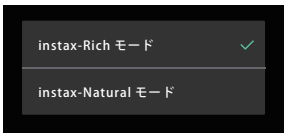


2 [プリント画質モード]をタップする



3 プリント画質モードを選ぶ

従来画質の［instax-Naturalモード］または色彩表現が豊かな［instax-Richモード］（工場出荷時の設定）に設定します。



4 画面左上の[←]をタップする

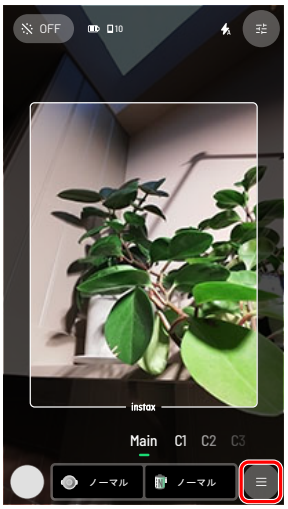
設定が反映され、設定画面に戻ります。

プリント画像の明るさを選ぶ

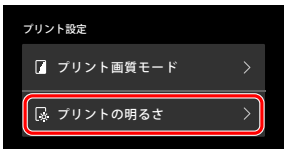
プリント時の明るさをメニューから選択し、プリントの仕上がりを調整できます。

1 [☰]をタップする

設定メニューが表示されます。



2 [プリントの明るさ]をタップする



3 設定を選ぶ

［×1.0（標準）］、［×1.5（やや明るい）］または［×2.0(明るい)］を設定します。



4 画面左上の[←]を選び、設定を反映させる

設定が反映され、設定画面に戻ります。

撮影データについて

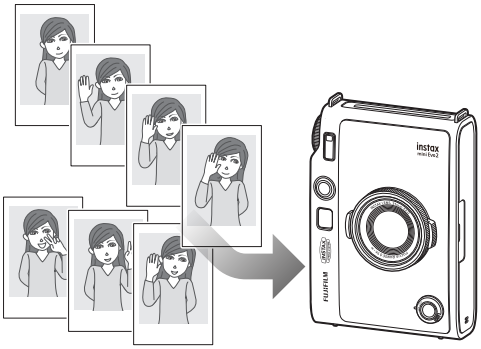
撮影データの保存先

撮影したデータは、メモリーカードの挿入あり/なしでデータの保存先が変わります。

メモリーカードを挿入しない場合

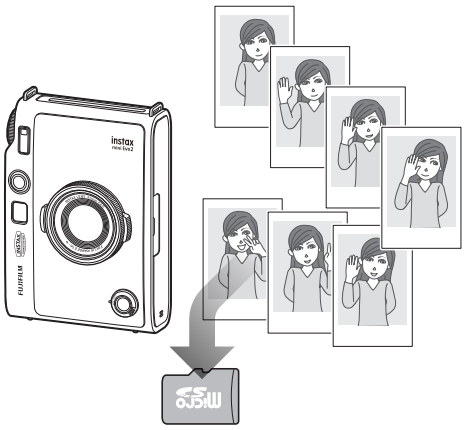
メモリーカードを挿入しないで撮影した場合、撮影データはカメラの内蔵メモリーに保存されます。

- 内蔵メモリーの上限枚数に注意してください。



メモリーカードを挿入した場合

メモリーカード挿入時は、データはメモリーカードに保存され、カメラの内蔵メモリーには保存されません。



- カメラの内蔵メモリーやメモリーカードに保存した画像は、自動で削除されません。データ容量に達した場合は、PCなどにコピーするか、必要に応じて、画像を削除してください。

静止画撮影可能枚数

静止画の撮影可能枚数の目安は以下となります。

撮影可能枚数

■静止画撮影時（広角エフェクトおよびinstax Expanded View™ OFFを除く）

内蔵メモリー	撮影可能枚数
ピクセル	2144 × 2860
枚数	45枚

microSD メモリーカード	撮影可能枚数
ピクセル	2144 × 2860
枚数	1GBあたり約560枚

■静止画撮影時（広角エフェクト）

内蔵メモリー	撮影可能枚数
ピクセル	2144 × 2860 ※通常の撮影時とピクセル数は同じですが、エフェクトの適用により、広角で撮影されます。
枚数	45枚

microSD メモリーカード	撮影可能枚数
ピクセル	3100 × 4128
枚数	1GBあたり約265枚

■静止画撮影時（instax Expanded View™ OFF）

内蔵メモリー	撮影可能枚数
ピクセル	2144 × 2860 ※instax Expanded View™ ON時とピクセル数は同じですが、OFFにすると広角で撮影されます。
枚数	45枚

microSD メモリーカード	撮影可能枚数
ピクセル	3100 × 4128
枚数	1GBあたり約265枚

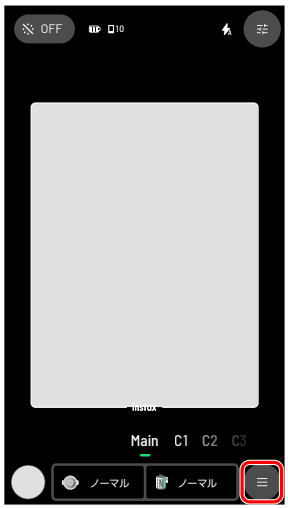
設定メニュー

設定メニューの操作と項目

設定メニューから各種設定の変更ができます。

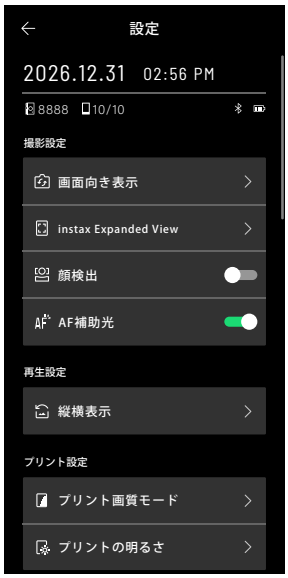
1 [☰]をタップする

設定メニューが表示されます。



2 設定したい項目をタップする

・各項目については、「設定メニューの項目」を参照してください。(45ページ)



3 設定を変更する

4 [←]を選び、設定を適用する

設定が反映され、元の画面に戻ります。

設定メニューの項目

■撮影設定

画面向き表示

撮影画面に表示される文字やアイコンの向きを設定します。日付表示の位置も設定できます。

instax Expanded View

撮影画面に表示されるinstax Expanded View™の[グレーアウト]、[ロゴ]、[ライン]を設定します。

顔検出

顔検出をオンにすると、カメラが人物の顔を検出し、ピントを合わせます。

AF補助光

オンにすると、撮影時、ピントが合うまでの間、AF補助光が発光し、被写体のピントを合わせやすくします。

■再生設定

縦横表示

[ON]にすると、2列/3列表示のときに横方向で撮影した画像を横向きで表示します。

■プリント設定

プリント画質モード

従来画質の［instax-Naturalモード］、または色彩表現が豊かな［instax-Richモード］（工場出荷時の設定）に設定します。

プリントの明るさ

[×1.0(標準)]、[×1.5(やや明るい)]または［×2.0(明るい)］を設定します。

■本体設定

画像コピー

画像を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。

以下の手順で行います。

1. 設定メニューから[画像コピー]を選択する
2. コピー元とコピー先を選び、タップする
3. [選択してコピー]または[すべてコピー]を選ぶ
   [選択してコピー]を選んだ場合：
   コピーしたい画像にチェックマークを付けたあとに、[コピー]を選ぶと、コピーが開始されます。
   [すべてコピー]を選んだ場合：
   [コピー]をタップすると、コピーが開始されます。
4. コピーが終了したら、[閉じる]を押して操作を終了します。

Bluetooth

[ペアリング登録]：
お使いの機器と初めてBluetoothで接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングについては、「Bluetoothペアリング設定」（14ページ）をご覧ください。
[ペアリング削除]：
ペアリング登録されている機器の情報を削除できます。
[情報表示]：
Bluetoothアドレス、本体名称、ペアリング登録端末を表示します。

日時

日付と時刻を設定します。

言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

音量

[操作音]、[シャッター音量]、[起動音]の音量を設定します。音を消したい場合は、スライダーを左に設定してください。

画面輝度

画面の明るさを設定します。

画面自動消灯

カメラを操作しない状態が続いたときに、自動で画面が暗くなるまでの時間を設定します。

自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。[5分]と[2分]から選べます。この機能を使用しないときは、[OFF]を選んでください。

■リセット/バージョンアップ

リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。
日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

フォーマット

カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている画像はすべて削除されます。

バージョンアップ

■ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアのバージョンアップは、2通りの方法で行うことができます。PC経由でバージョンアップする場合は、あらかじめメモリーカードを用意してください。

●スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」から行う

1. スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」を起動する
2. 設定メニューの［本体のバージョンアップ］をタップする
3. [アップデート］をタップする
4. 画面の指示に従って操作する

●カメラ本体から行う

1. PCなどで富士フイルムのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードのルートディレクトリーにコピーする
2. ファームウェアをコピーしたメモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
3. 設定メニューから［バージョンアップ］を選ぶ
4. 画面の指示に従って操作する

アプリについて

スマートフォンアプリ連携で使える機能

スマートフォンアプリ「instax mini Evo™」と連携すると以下の機能が使用できます。



■プリントヒストリー機能

カメラで撮影した動画や静止画を、スマートフォンアプリへBluetoothもしくはWi-Fiで転送できます。転送した動画や静止画はアプリ内のプリントヒストリーで閲覧できます。
また、プリントヒストリーに表示される画像には、一言コメントを追加することができます。

■ダイレクトプリント

スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信して出力できます。

■プリント動画/静止画保存

カメラから出力した画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内にinstaxフレーム付き静止画として保存できます。
また、instax Immersive Movie™モードで撮影した画像を送信すると、instaxフレーム付き静止画に加え、動画も保存できます。

■リモート撮影

フラッシュやセルフタイマーをスマートフォンアプリで設定して、リモート撮影できます。

スマートフォンアプリを設定する

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンに「instax mini Evo™」アプリをインストールしてください。

- Android OSのスマートフォンをご使用の場合は、Google Playから「instax mini Evo™」を検索し、インストールしてください。
  ＊Android OSのスマートフォンの動作環境：Android Ver 12.0以上、かつGoogle Playがインストールされている
- iOSのスマートフォンをご使用の場合は、App Storeから「instax mini Evo™」を検索し、インストールしてください。
  ＊iOSのスマートフォンの動作環境：iOS Ver 17.0以上

スマートフォンの機種によっては、スマートフォンアプリをインストールし、上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。

iOS　Android OS

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

1. **あらかじめ端末にダウンロードしたアプリ「instax mini Evo™」を起動する**
2. **利用規約をご確認いただき、[同意する]をタップする**
3. **利用地域を選んで、[次へ]をタップする**
   国内で使用する場合は、[上記以外の地域]を選びます。
4. **プライバシーポリシーをご確認いただき、[同意する]をタップする**
5. **[instax mini Evo 2]をタップして、[次へ]をタップする**
6. **[Bluetooth接続設定へ]をタップする**
7. **[許可]をタップする**
8. **カメラの設定から[Bluetooth]をタップし、[ペアリング登録]をタップする**

9 **お使いのカメラが検出されたら、[接続]をタップする**
複数のカメラが検出された場合は、接続したいカメラを一覧から選択してください。
カメラの識別名(SSID)は、カメラの底面に記載されています。

10 **お使いのカメラのシリアル番号と、アプリで表示されるシリアル番号が一致しているかを確認して[ペア設定する]をタップする**

11 **[次へ]をタップする**

12 **簡易使用説明が表示されるので[次へ]をタップしてお読みいただき、[はじめる]をタップする**
アプリの準備が完了します。

その他の情報

仕様

■カメラ機能

撮像素子	1/2.77型CMOS原色フィルター
記録画素数	**静止画 (Normal):** 2144 × 2860 ピクセル **静止画 (広角エフェクト適用時または instax Expanded View™ OFF時):** microSD/microSDHC/ microSDXC メモリーカード装着時 3100 × 4128 ピクセル 内蔵メモリー　2144 × 2860 ピクセル **動画(instax Immersive Movie™):** microSD/microSDHC/ microSDXC メモリーカード装着時 560 × 992 ピクセル 内蔵メモリー　記録不可
記録メディア	内蔵メモリー、microSD/microSDHC/ microSDXC(～256GB) メモリーカード
記録枚数	**静止画** 内蔵メモリー: 約 45枚 microSD/microSDHC/ microSDXC メモリーカード装着時、1GBあたり 2144 × 2860 ピクセル　約560枚 3100 × 4128 ピクセル　約265枚 **動画(instax Immersive Movie™)** 内蔵メモリー: 記録しない microSD/microSDHC/ microSDXC メモリーカード装着時、1GBあたり 560 × 992 ピクセル　約250本 (1本=5秒)
静止画記録方式	JPEG　DCF準拠 Exif Ver. 2.3
焦点距離	**レンズ** f=21mm (35mmフィルム換算) **静止画** instax Expanded View™ ON 広角エフェクト以外: f=33mm 広角エフェクト: f=23mm instax Expanded View™ OFF 全エフェクト: f=23mm **動画(instax Immersive Movie™)** 広角エフェクト以外: f=23mm 広角エフェクト: f=21mm
絞り	F2.0
オートフォーカス	シングルAF、顔認識AF
撮影可能距離	10 cm ～ ∞
シャッタースピード	発光なし: 1/4秒～1/8000秒、発光あり: 1/15秒～1/8000秒 (自動切換え)
撮影感度	ISO100～1600(自動切換え)
露出制御	プログラムAE
露出補正	−2.0 EV ～ +2.0 EV (1/3 EVステップ)
測光方式	イメージセンサーによる256分割測光 マルチ測光
ホワイトバランス	AUTO、晴れ、日陰、蛍光灯、電球
フラッシュ	オート/強制発光/発光禁止 撮影可能範囲　50 cm～1.5 m
セルフタイマー	約10秒/約2秒
動画記録方式	MP4　H.264
動画フレームレート	24 fps
動画ビットレート	5.0 Mbps
画像エフェクト	レンズエフェクト10 種、 フィルムエフェクト10 種 上記かけ合わせ計100 種

■プリント機能

露光画素数	1600 × 600 ドット (スマートフォンアプリからの印刷時は、800 × 600 ドット)
露光解像度	25 ドット/mm×12.5 ドット/mm (635 × 318 dpi、40 × 80 μm ドットピッチ) (スマートフォンアプリからの印刷時は、12.5 ドット/mm (318 dpi、80 μm ドットピッチ)
露光階調	RGB 各色256階調
プリント可能画像フォーマット	カメラ内蔵メモリー及びmicroSD/ microSDHC/microSDXC メモリーカードからの場合: 本機で撮影したJPEG画像 スマートフォンからの場合: JPEG、PNG、HEIF
プリント出力時間	約14秒 ＊ instax-Rich™モードとinstax-Natural™モード使用時どちらとも約14秒となります
プリント機能	内蔵メモリー内の画像 + メモリーカード内の画像をプリント可能

その他の情報

■その他

スマートフォンアプリ連携機能	スマートフォン画像プリント機能、リモート撮影機能、プリント済動画/静止画データ転送機能、バージョンアップ機能
液晶モニター	4.46型　タッチパネル付きTFTカラー液晶モニター　約123万ドット
外部インターフェース	USB Type-C (充電専用)
Bluetooth®	準拠規格:Bluetooth® Ver. 5.2 (BLE)
無線LAN通信	IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯のみ） 暗号化方式　WPA/WPA2/WPA3 アクセス方式　インフラストラクチャーモード
電源	リチウムイオン電池（内蔵型）
消費電力	電源オフ時: 約0.0W (0.4mW)
自動電源オフ機能	5分/2分/オフ ※自動電源オフ機能をオフにすると、本製品の消費電力が増加します。
画面自動消灯	15秒/30秒/1分/2分 ※画面が暗転している間は、消費電力を抑えることができます。
プリント可能枚数	約90枚（フル充電から） ※ 使用条件によりプリント枚数は異なります。
充電時間	約2 ～ 3時間 ※ 気温によって異なります。
本体外形寸法	87.5 mm × 125.3 mm × 43.7 mm（突起部を除く）
本体質量	約330 g（フィルムパック、記録メディア含まず）
動作環境	温度: 5℃ ～ 40℃ 湿度: 20% ～ 80%（結露しないこと）
使用フィルム	富士フイルム インスタントフィルム instax™ mini (別売)

※ 上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。
または下記のウェブサイトにアクセスしてください。
富士フイルムホームページ： https://fujifilm.jp/

使用中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	USB電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中に充電ランプが点滅する。	周囲の温度が+5℃～+40℃の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	• 電源が入っているか確認してください。 • バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。 • 内蔵メモリーまたはメモリーカードが上限に達した場合は、新しいメモリーカードを入れるか、不要な画像を削除してください。 • 本機でフォーマットしたメモリーカードを使用してください。 • メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。 • メモリーカードが壊れている可能性があります。新品のメモリーカードを入れてください。
静止画撮影時にピントが合わせられない。	ピントが合いにくい被写体を撮影する場合は、AF/AEロックを使用して撮影してください。
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。発光禁止以外の設定を選んでください。

その他の情報

このようなときは	考えられる原因と対処法
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	• 被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。 • フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	• レンズに指紋などの汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。 • AFフレームが緑色になっていることを確認して撮影してください。
カメラが正常に作動しない。	• 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。リセットボタンを押してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。 • バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
フィルムカートリッジが入らない、またはスムーズに入らない。	• 富士フイルム インスタントフィルム instax™ miniを使用してください（他のフィルムは使用できません）。 • フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラの位置合わせマーク（黄色）を合わせて入れてください。
フィルムが排出されない。	• 振動や落下などの衝撃で、フィルムがずれている可能性があります。新しいフィルムカートリッジを入れてください。 • フィルムが詰まっている場合は電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、詰まったフィルムを取り除いてから、新しいフィルムカートリッジを入れてください。
でき上がったプリントの一部または全部が白くなっている。	フィルムを使い切るまで、フィルムドアを開けないでください。フィルムが残っている状態でフィルムドアを開けるとフィルムが感光して、感光した部分が白くなります。
プリントにむらがある。	• プリントされた直後にプリントを振る、曲げる、折る、押さえるなどしないでください。 • フィルム排出口を塞がないでください。
カメラが動作不具合を起こし、電源が切れない。	USB Type-Cケーブル端子の横にあるリセットボタンを押すと、電源を切ることができます。

カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。

本機が不要になりましたら、リチウムイオン電池は商品廃棄時に取り出し、一般ゴミなどと一緒に廃棄はせず、充電式電池の排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて

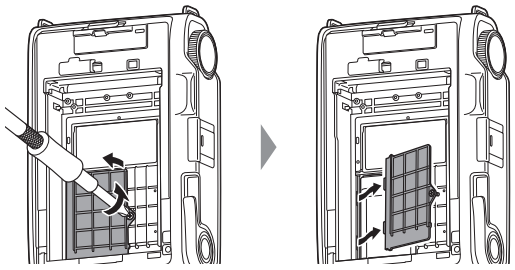
小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。
https://www.jbrc.com/

本機を廃棄するときは

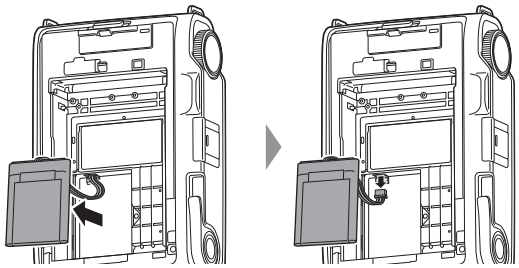
本機を廃棄するときは、本機からバッテリーを取り出し、排出協力店・自治体の指示に従い廃棄してください。

1 フィルムドアを開けてフィルムカートリッジを取り出す

2 ドライバー（市販品）を使って、バッテリーカバーを外す



3 配線を引き出し、コネクターを外し、バッテリーを抜く



その他の情報

安全にご使用いただくために

●この製品および付属品は、写真撮影・プリント以外の目的に使用しないでください。

●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠警 告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **以下のような場合は、直ちにUSB Type-Cケーブルを外すとともに、電源を切ってカメラの使用を止め、お客様相談窓口、販売店にご相談ください。そのまま利用を続けると、発熱・発火の原因になることがあります。**

- **カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が発生したとき**
- **カメラを水中に落下させたり、内部に水または金属や異物などが入ったとき**

⚠ **カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となることがあります。**

⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

⚠ カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。

⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。

⚠注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、 または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。

⚠ 故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずに、お買い上げ店にご相談ください。

⚠ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。けがの原因となることがあります。

⚠ フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。

⚠ 充電が完了したら速やかにUSB Type-Cケーブルを外してください。

⚠ 本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

取扱上のお願い

■機器およびバッテリーの取り扱い上の注意

- 直射日光の強い場所や火気の近くで使用したり、放置したりして、過度の熱にさらさないでください。熱のダメージにより、使用、保管、輸送中、または廃棄時に破裂、または引火性液体やガス漏れの原因となることがあります。
- 火中や焼却炉などに廃棄したり、または機械的に押しつぶしたり、切断はしないでください。破裂の原因となることがあります。
- 可燃性の液体や、引火性の高いガスの傍に放置しないでください。破裂の原因となることがあります。
- 高所地域等の極端に気圧の低い場所に放置しないでください。破裂、または引火性液体やガス漏れの原因となることがあります。

■カメラの取り扱い

1. **フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。**
2. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
3. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
4. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このカメラの使用温度範囲は+5℃から+40℃です。
8. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
9. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量に撮影する用途には適しておりません。

■液晶モニターの取り扱い

液晶モニターは傷がつきやすいので、硬いものでこすらないように注意してください。傷を防止するために、市販の保護シートを貼ることをお勧めします。

その他の情報

■ 充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が+5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

■ 使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

VCCI-B

■ 本製品が取得している認証関連のマークは、フィルムカートリッジ室内に表示されています。

■ プリント中の注意事項



プリント中にカメラを振らない



プリント中にカメラを落とさない



プリント中にフィルム排出口を塞がない

■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱いかたについては、富士フイルム インスタントフィルム"instax™ mini"の取扱説明を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く使用してください。
4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。
6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします（詳しくは各空港でご確認ください）。
7. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストにふれたときは、速やかに水で充分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約10分間でアルカリ性が弱まります。
10. 撮影した写真を密閉した袋などに入れると、写真が変色する場合がありますので、密閉した状態では保管しないでください。

■ フィルムやでき上がった写真を取り扱うときの注意

詳細は、富士フイルム インスタントフィルム"instax™ mini"の取扱説明を参照してください。



電源仕様（Power Supply Specification）

■ 消費電力

電源オフ時: 約0.0W (0.4mW)

■ 自動電源オフ機能

5分/2分/オフ

※ 自動電源オフ機能をオフにすると、本製品の消費電力が増加します。

その他の情報

無線LAN/Bluetooth®機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線LAN/Bluetoothをご使用になる前に必ずお読みください。

■ 本製品は無線LAN/Bluetooth機器としてお使いください。

無線LAN/Bluetooth機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線LAN/Bluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線LAN/Bluetooth機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。

本製品の無線LAN/Bluetooth機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使いいただく国の法律を順守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。最大出力は無線LAN使用時10.49mW、Bluetooth使用時1.53mWとなります。

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

1. 構内無線局（免許を要する無線局）
2. 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。
本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 商標について

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■ 本機の無線方式について

2.4 FH 2

2.4:2.4GHz帯を使用する無線設備
FH: 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS方式）
2: 想定干渉距離が20m以内
■■■■■: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

2.4DS/OF2

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備
DS/OF: 変調方式は直接拡散(DSSS方式)と直交周波数多重分割（OFDM方式）
2: 想定干渉距離が20m以内
■■■■■: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

その他の情報

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。
ご購入店または富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。
それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少違いますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7 ～ 10 日位をご予定ください。

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

その他の情報

● 本製品に関するお問い合わせ
富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口
0570-04-1640

● 修理に関するお問い合わせ
富士フイルム フィルムカメラ修理相談窓口
0570-06-6092

▶お問い合わせに関する最新情報などは弊社ホームページ（QRコードよりアクセス）でご確認ください。
▶富士フイルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。
富士フイルムホームページ：https://www.fujifilm.com/jp/ja

*FUJIFILM, instax, instax mini Evo, instax mini Evo 2, instax Expanded View*及び*instax Immersive Movie*は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

Independent JPEG Groupライセンス

本ソフトウェアの一部は Independent JPEG Group の著作物に基づくものです。

© 2026 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation
7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN